ゆうでんかい

大阪電気通信大学友電会

大阪電気通信大学同窓会組織

YUDENKAI

The Alumni Association of Osaka Electro-Communication University

No.125
2016/5

平成27年度学位授与式の光景

㊤学位授与式会場前で記念写真
㊦6号館2階から撮影
㊦橘邦英学長から卒業生代表に学位記授与

友電会HP　http://www.yudenkai.org

学　位
授与式

平成28年３月23日

卒業生代表に橘邦英学長が学位記授与

会場における卒業生

会場の四條畷キャンパスのコナミホール

告辞
橘邦英学長(学位授与式)

告辞
大石利光新学長（入学式）

祝辞
成瀬淳理事長

訓辞
大学院工学研究科長
小見山彰先生（入学式）

大学院医療福祉工学
研究科長　松村雅史先生
（入学式、学位授与式）

大学院総合情報学
研究科長
上善恒雄先生（入学式）

入学式　平成28年４月５日

㊤入学式会場での新入生
㊦会場前の新入生と家族など

新入生代表による「宣誓」

新入生に対するクラブの勧誘

四條畷キャンパスで「2015年度学位授与式」挙行される

母校・大阪電気通信大学では学部と大学院の「2015年度学位授与式」を３月23日（水）午前10時から午後３時30分まで３回に分けて四條畷キャンパスのコナミホールで開催しました。

午前10時からは工学部と医療福祉工学部、午前11時30分からは情報通信工学部と総合情報学部、金融経済学部、午後２時から大学院が行われました。学位記授与者は学部が941名、大学院が博士後期課程（医療福祉工学専攻）１名を含む64名で、母校を巣立っていきました。

学内の桜もちらほら咲き始め、卒業を祝福しているようでした。

●学部の学位授与式

開式の後、学位記授与が行われました。橘邦英学長から各学科の代表に学位記が渡されました。

告辞で橘学長は、「私にとって今回の学位授与式は、感慨もひとしおです。皆さんが入学した４年前に学長に就任し、今回、退任、つまり卒業することになりました。皆さんとまったく同じだからです」と語り、「４年前に、福沢諭吉著の『学問のすすめ』について話しました。『天は人の上に人を造らず…』は、『人は生まれながらにして平等である』といっています」とし、「努力が大切です。学習習慣を忘れずに、それぞれの分野での活躍を期待しています」とはなむけの言葉を述べました。

続いて母校の成瀬淳理事長は「新しい人生のスタートに当たっての教訓として、選択を迫られる時があると思う。自分で決めた道を自信をもって進んでいくことを期待します」と祝福しました。

大学歌を斉唱して式を終えました。

●大学院の学位授与式

開式に続いて、各専攻別の代表に橘学長から学位記が授与されました。

橘学長は告辞の中で「一生懸命努力すれば、必ず成功に繋がります。信念をもって進んで下さい」と語り、医療福祉工学研究科の松村雅史科長が訓辞を、成瀬理事長が祝辞を述べられ、大学歌を斉唱しました。

●会場外では

会場のコナミホールの前の広場では、着飾った女子卒業生を中心に華やいだ雰囲気に包まれていました。「大阪電気通信大学・大学院　学位授与式」の看板の前で、卒業を祝う仲間同士や親子などでの記念写真のシャッターがひっきりなしに切られていました。６号館前で、ある学科は卒業生全員が２階からの撮影に応じるなど、卒業式当日の楽しい雰囲気でいっぱいでした。

◆学部の学位記授与者	**941名**
●工学部	333名
●医療福祉工学部	152名
●情報通信工学部	165名
●総合情報学部	252名
●金融経済学部	39名
◆大学院・修士課程	**63名**
●工学研究科	39名
●医療福祉工学研究科	７名
●総合情報学研究科	17名
◆大学院・博士後期課程	**１名**
●医療福祉工学専攻	１名

「2016年度入学式」が四條畷キャンパスで挙行される

母校・大阪の電気通信大学は、「平成28年度入学式」を４月５日午前10時から四條畷キャンパス・コナミホールで挙行しました。入学者は、学部1,175名、大学院が66名の計1,241名で、我々の仲間入りをしました。

入学式は午前10時から情報通信工学部と医療福祉工学部、午前11時30分から工学部、午後2時から総合情報学部と金融経済学部、午後3時から大学院と4回に分けて挙行されました。

開式の後、大石利光・新学長は、「皆さんの入学を許可します」と力強く語りました。

学長は、「人との出会いを大切にして下さい」と述べ、「我々教職員は、皆さんが卒業するまで指導することを約束します」と告辞しました。

次いで成瀬淳・理事長は、「１人で悩んだりせず、学友や大学教職員などとグループで解決することが大切です。このことは、長い人生において学生生活で得られる最も重要なことです」と祝辞を述べました。

学生代表は「学法にのっとり、勉学に励むことを誓います」と宣誓しました。

大学院では大石学長が告辞を、小見山彰・工学研究科長、松村雅史・医療福祉工学研究科長、上善恒雄・総合情報学研究科長の３先生が訓辞をしました。

成瀬理事長が祝辞を述べ、研究科新入生代表が宣誓しました。

最後に大学歌を斉唱して入学式を閉会しました。

大石学長は、学長として初の公式行事に挑みました。

会場の外では、コナミホールに続く道路で各クラブが新入生にビラを配るなど、入部の勧誘にやっきでした。保護者の姿も多く、桜や「入学式」の看板をバックに親と記念写真を撮る姿がみられました。

桜は満開。新入生を祝福しているようでした。

ゆうでんかい

第125号　2016年5月10日

大阪電気通信大学・同窓会組織　友電会会誌

・「伝統を継承し、実学教育で『人間力』と『技術力』を培う大学として」　大石利光新学長 …… 6
・「平成28年度友電会通常総会・合同懇親会」案内 …… 8
・「平成28年度通常総会議案」 …… 10
・「ホームカミングデー」寝屋川キャンパスで開催 …… 19
・「クラブ同窓会」平成28年度通常総会議案 …… 20
・『大阪電気通信大学高等学校同窓会会報』 …… 22
・橘邦英学長「最終講義」行う …… 24
・電気電子工学科・生田孝先生「最終講義」 …… 25
・友電会が「硬式野球部・柔道部」を表彰 …… 26
・OB中野正三（E05）氏がJR京都駅から母校へマラソン …… 27

■支部だより

神戸支部が総会 …… 28
東海総支部が総会 …… 30
東海総支部が研修会 …… 32
茨城支部が総会 …… 33
北関東支部が総会 …… 34
神奈川支部が総会 …… 34
千葉支部が総会 …… 35
三田支部が総会 …… 36
九州支部が総会 …… 37
京都支部が総会 …… 38
奈良支部が総会 …… 40

・平成28年度母校の入試案内 …… 42
・母校の「2015年度退職者送別会」が行われる …… 43

ホームページ　http://www.yudenkai.org

■ 会誌への投稿や事務局への連絡等はE-mailかFAXで
友電会事務局　FAX:072－824－1197
E－mail:yudenkai@yudenkai.org

2016年5月10日　第125号

発 行 所／ 大阪電気通信大学友電会（大阪電気通信大学同窓会組織）
YUDENKAI The Alumni Association of Osaka Electro-Communication University
〒572-8530　大阪府寝屋川市初町18番8号
18-8Hatsu-Machi Neyagawa-City Osaka Japan 572-8530
（友電会直通）TEL：072-824-3111　FAX：072-824-1197
（大学代表）　TEL：072-824-1131　内線3266
郵便振替番号　00990-5-49361
発行責任／ 友電会会長　池本善一
編集責任／ 友電会事務局長　柴垣佳明
編　　集／ 廣谷　明、吉田祐三
資料提供／ 学校法人大阪電気通信大学、大阪電気通信大学事務局他
寄 贈 先／ 大阪電気通信大学関係先をはじめ他大学同窓会並びに国立国会図書館逐次刊行物部、その他
購 読 料／ 2年間　1,000円（卒業後3年間は無料配布、総会通知号は全会員に）
印　　刷／ ダイコロ株式会社

大学学章

電子工学・通信工学を中心とする大学の象徴として、原子内電子軌道を図案化したものをバックに、「大学」を白抜き文字で配してある。この純白は、清廉・潔白な人材の育成と、祈りと、希いがこめられてつくられた。

会誌購読のお願い

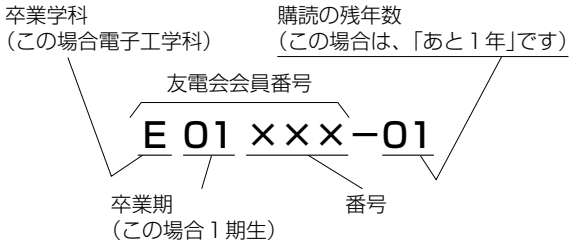
■ 購読料：2年間　1,000円

友電会では、会員諸氏相互の"情報・交流・親睦の場"として、会誌「ゆうでんかい」を発刊しています。

なお、卒業後3年間は、無料です。また、法人化入会金を納入されている方は無料です。

会誌発送用の宛名の「記号」について

（封筒の宛名シール）



■編集後記

- 「平成28年度友電会通常総会」は、6月18日（土）に開催されます。母校の教職員の同窓会「緑樹会」、学生時代にクラブ活動をしていたOBの集まり「クラブ同窓会」の3団体共催の「合同懇親会」も開催されます。ぜひ、ご出席してください。
- 今年4月から学長に就任された大石利光先生が、本誌に投稿してくださった。「伝統を継承し、実学教育で『人間力』と『技術力』を培う大学として」がテーマ。「平成28年度友電会通常総会」での「記念講演会」で講師として講演します。母校の将来を語ってくれるだけに、いまからワクワクです。
- 今号は、友電会の各支部の総会などの記事が多くなりました。前号（124号）に掲載すべき記事ですが、ページ数が足りず、今号になりました。それだけに充実した内容になっています。

[訂正とお詫び]

本誌前号（124号）11ページの写真説明が「少林寺拳法部の演武」となっているのは、「合気道部」の誤りでした。訂正してお詫びします。

友電会のホームページに「友電会掲示板」コーナーがあります。会員の皆さんからの自由な意見を掲載、同窓の集いの広場になればと思っています。母校発展に寄与する建設的なアイデアや近況報告などをお寄せ下さい。

大阪電気通信大学友電会
会長　池 本 善 一

6月18日(土)「友電会通常総会」お待ちしています

記念講演会は大石利光・新学長

会員諸氏におかれましては、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度の「友電会通常総会」は6月18日(土)午前10時から、母校・寝屋川キャンパスのJ号館で開催します。

午前10時から「平成28年度クラブ同窓会総会」、午前11時15分から「緑樹会年次報告会」、午前11時25分から「平成28年度友電会通常総会」を開き、午後0時15分から「記念講演会」を行います。

午後1時からは、緑樹会、クラブ同窓会、友電会の3団体共済の「合同懇親会」を開催し、午後3時には閉会します。

●「記念講演会」

今回の講師は、この4月に学長に就任しました大石利光先生です。テーマは「伝統を継承し、実学教育で『人間力』と『技術力』を培う大学として」です。

新学長は、「今後の大阪電気通信大学の教育」など大学の運営を中心に語ってくれるでしょう。会員諸氏にとって最も興味あることでしょう。面白い話も聞けそうです。

●「合同懇親会」

母校の教職員の同窓会「緑樹会」、クラブのOBの集まり「クラブ同窓会」、そして「友電会」の3団体が合同で開催します。

多くの恩師の姿はもとより、母校の現職の教職員や学生、学生時代にクラブに所属していたOBなどが、家族を伴って来場します。

どうぞ、学友を誘って家族と一緒に来てください。

酒を酌み交わしての旧友との学生時代の思い出話、恩師との語らい、母校の将来について話し合うのも良いでしょう。

そこには、「大阪電気通信大学」という基本的な共通があります。きっと、総会に参加すれば有益なことがあります。

●友電会50周年「記念品」を母校に贈呈

昨年度、友電会は創立50周年を迎えました。これを記念して母校に「80インチ 4Kテレビ」二式を、4月5日に入学式当日、会場で新学長の大石先生に贈呈しました。

一式は寝屋川キャンパスのエデュケーションセンター(J号館)1階のレストランと学生ラウンジの間のホールに、もう一式は四條畷キャンパスのコナミホールと6号館の間のホールに設置されています。ぜひ、ご覧になってください。

6月18日(土)に、お待ちしています。

■「友電会顧問弁護士への相談受付」案内

大阪電気通信大学友電会では、個人的なことで弁護士さんへの相談ごとがありましたら会の顧問弁護士への無料相談を行います。

申し込みは、直接に友電会顧問弁護士「腰岡實法律事務所」へお申し込みください。相談された方のお名前等個人情報、相談内容等については、友電会では関知いたしません。相談内容によっては弁護士さんの方で断られることもございます。個人的なことに限定してください。

対象は友電会会員のみですので、会員であることを裏付けるため、次のことを告げてください。

●友電会会員の裏付け

・氏名
・卒業－年－学科－卒業研究室名

●顧問弁護士

・腰岡實法律事務所
・住所　〒541-0048 大阪市中央区瓦町1丁目6-1 シティタワー大阪1601
・電話　06-6222-1597　・FAX　06-6222-1598

伝統を継承し、実学教育で「人間力」と「技術力」を培う大学として

大阪電気通信大学
学長　大 石 利 光

現在、少子化の進行に伴い大学志願者数が急激に減少する、いわゆる「2018年問題」が目の前に迫っており、本学の長い歴史の中でも非常に厳しい時期を迎えようとしております。この重要な時期に大阪電気通信大学の学長に就任することの責任の重さを痛感しております。

私自身は、本学の教員になって７年目を迎えます。運営面、教育面、研究面等々まだまだ経験不足です。しかし産業界においては、製造現場、品質管理、生産技術、研究開発、商品開発等の多くの業務に携わり、『モノづくり』の基礎から商品を世に送り出すまでの全工程に携わる貴重な経験を有しております。

また、経営者としてマネジメントの最前線に立ち、会社の繁栄に微力ながら貢献した経験も有しております。それらの経験をおおいに大学運営に活かしていきたいと思っています。

『知識は実践の中で活用され、知恵に変わってこそ身につく』と言われています。

本学では、単に知識を学ぶだけでなく本学の伝統である「実学」を重視した教育のもと、すべての学生の皆さんが「人間力」と「技術力」を育み、社会に大きく羽ばたいていけるように資格取得環境の充実、ユニークなキャリア教育体制を強化して、時代のニーズや社会に対応することのできる社会人としての基礎力を強化していきたいと考えております。

教育面・研究面では前学長のもとで進めてきた、教育基本３方針（ポリシー）に沿って、各学部・学科、大学院の各研究科が実学の４ステップを意識し、教育研究を着実に推進できる体制を推進してまいります。そして、教育基本３方針（Plan）に対しての取り組み（Do）を各々の組織で自己採点し（Check）、その結果を今後につなげていく（Act）と言う『PDCAサイクル』をしっかりと実行しながら、本学の教育研究水準

をより一層高めてまいります。また本学では先駆的で実用化を目指した研究が多く行われており、単独の成果だけでも世界に誇る業績を上げています。更に、これらの成果は融合される事で、ユニークな商品・製品が生まれる可能性を秘めています。具体的戦略として、各研究所、研究施設、センターと広く連携し、学科、学部、専攻の枠を超えた商品化プロジェクトを立ち上げていきたいと考えております。

その際には、是非友電会の皆様のお知恵をお借りして、よりよい形で社会貢献できればと考えています。

また本学は、就職に強い大学と言われてきましたが、その名声も薄らいできている印象がございます。

今一度就職に強い大学へと返り咲き、関西進路決定率No.1を目指していきたい。

そのためには、友電会の皆様をはじめ卒業生の皆様のお力もお借りして、資格取得の推進、ユニークなキャリア教育を通じて、学生の社会人基礎力の向上をはかり、進路決定率(就職率)を高めてまいりたいと思います。

最後に大学運営は、理事会、及び法人事務局と方向性を共有しながら意見交換を行い、正しく協調しあって相互の信頼関係を強固にし、教学側と経営側が一体となる事が前提であると考えています。その上で、大学を取り巻くステークホルダーの皆様とも意見交換をする機会を増やし、ご意見、ご要望をお聞きしながら大学運営に必要な知識・知恵を情報システムに集積し、組織全体で有効に共有活用できるような仕組みづくりを強力に推し進めてまいります。そして全教職員と共に手を携え、本学の伝統を継承しつつ更なる飛躍に向けて邁進してまいる所存でございます。

今後とも、皆様方のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年度入学式で
(平成28年４月５日・母校四條畷キャンパスのコナミホールにて)

橘邦英学長の2016年３月31日付け任期満了にともない、所信表明及び意向投票をふまえ３名の候補者が学長選考委員会から推薦され、2015年12月22日開催の理事会において、大石利光医療福祉工学部長(医療福祉工学部健康スポーツ科学科教授)が次期学長に決定し、2016年４月１日に就任しました。

任期は、2016年４月１日から2020年３月31日までの４年間です。

＜新学長のプロフィール＞

【氏　名】
大石利光(おおいし としみつ)
【生年月日】
1955年１月５日生(満61歳)
【専　　門】
健康運動科学、ヘルスケア機器研究開発
【所属部署】
・医療福祉工学部健康スポーツ科学科 教授
・大学院 医療福祉工学研究科 医療福祉工学専攻指導教員
【研究テーマ】
1)フォーストレップマシンの開発
2)運動とゲームの融合研究
3)高齢者向け健康増進マシンの開発
【略　　歴】
・1974年３月　大阪府立城東工業高等学校電気科卒業
・1987年６月　コナミ工業株式会社(現コナミホールディングス株式会社)入社
・2000年９月　コナミ株式会社(現コナミホールディングス株式会社)AM(アミューズメント)事業本部 副本部長兼 神戸事業所所長
・2003年９月　コナミスポーツライフ株式会社　代表取締役社長
・2005年６月　コナミスポーツ株式会社(現株式会社コナミスポーツクラブ)代表取締役執行役員社長
・2009年６月　株式会社コナミスポーツ&ライフ(現株式会社コナミスポーツクラブ)代表取締役執行役員　副社長
・2010年４月　大阪電気通信大学医療福祉工学部健康スポーツ科学科教授(現在に至る)
・2014年４月　大阪電気通信大学医療福祉工学部長
・2015年４月　学校法人大阪電気通信大学　理事・評議員(現在に至る)
・2016年４月　大阪電気通信大学　学長

平成28年度
「大阪電気通信大学 友電会通常総会・合同懇親会」案内

平成28年度「大阪電気通信大学友電会通常総会」と「緑樹会」、「クラブ同窓会」の３団体による「合同懇親会」を、下記のように、平成28年６月18日（土）午前10時から母校・寝屋川キャンパスのエデュケーションセンター（J号館）で開催いたします。会友お誘い合わせのうえ、ご家族連れでのご出席をお待ちしています。

●平成28年度友電会通常総会議題

第１号議案　平成27年度事業報告
第２号議案　平成27年度収支決算報告
第３号議案　平成27年度一般会計剰余金処分案
第４号議案　平成28年度事業計画案
第５号議案　平成28年度収支予算案
第６号議案　平成28年度役員案
第７号議案　平成28年度評議員案

●記念講演会

講　師　**大石利光・新学長**

テーマ　**「伝統を継承し、実学教育で『人間力』と『技術力』を培う大学として」**

総会での記念講演会は、今年から母校の学長に就任した大石利光先生に「伝統を継承し、実学教育で『人間力』と『技術力』を培う大学として」のテーマで講演していただくことになっています。母校の将来の「姿」を明らかにしてくれるだけに楽しみです。

なお、大石・新学長から投稿していただいています。本誌6、7ページに掲載していますので参照ください。

大石利光・新学長（４月５日に挙行された平成28年度入学式にて）

●開催概要

- **テーマ**
  「新たなスタート－母校への貢献と恩返し－」
- **日　時**
  平成28年６月18日（土）10:00～15:00
  友電会総会　11:25～
  受付開始　10:30～
- **会　場**
  母校・寝屋川キャンパス
  エデュケーションセンター（J号館）
- **合同懇親会**
  緑樹会、クラブ同窓会、友電会の３団体共催
- **会　費**
  3,000円
  （同伴者、学生、名誉教授、大学教職員および招待者は無料）

●タイムテーブル

・10:30～　友電会総会・懇親会　受付　開始

（会　議）

・10:00～10:25　平成28年度クラブ同窓会総会　J-515号室
・10:30～10:45　第１回友電会支部長会　J-503号室
・10:50～11:20　第２回友電会理事会　J-504号室
・11:15～12:10　平成28年度緑樹会年次報告会　J-514号室
・11:25～12:10　平成28年度友電会通常総会　J-507号室

（記念講演会）

・12:15～12:55　記念講演会　J-510号室

（合同懇親会）

・13:00～
　合同懇親会（緑樹会、クラブ同窓会、友電会共催）
　J号館１階レストラン
・15:00　閉会

会員の動向

平成28年４月１日現在　４万9,132人

期／学科	E	G	H	I	J	N	Z	U	P	F	K	RV	A	L	Y	S	Q	W	T	MD	計	物故
1 (S.40)	93	–	–	–	–	–	–	–	–	31	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	124	7
2 (S.41)	193	–	–	–	–	–	–	–	–	88	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	281	15
3 (S.42)	221	–	–	–	–	–	–	–	–	125	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	346	19
4 (S.43)	125	–	–	–	–	–	–	–	–	138	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	263	9
5 (S.44)	84	49	49	53	–	–	–	–	–	115	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	350	9
6 (S.45)	138	92	138	71	–	–	–	–	–	161	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	600	25
7 (S.46)	190	85	136	89	–	–	–	–	–	180	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	680	12
8 (S.47)	175	101	211	108	–	–	–	–	–	183	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	778	15
9 (S.48)	216	190	210	196	–	–	–	–	–	219	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1,031	17
10 (S.49)	161	188	181	151	–	–	–	–	–	194	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	875	16
11 (S.50)	178	178	165	194	–	–	–	–	–	196	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	911	17
12 (S.51)	172	141	167	180	–	–	–	–	–	189	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	849	20
13 (S.52)	200	187	209	164	–	–	–	–	–	210	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	970	20
14 (S.53)	162	161	163	162	–	–	–	–	–	148	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	796	17
15 (S.54)	160	159	186	201	121	–	–	–	–	170	123	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1,120	12
16 (S.55)	144	132	141	164	140	–	–	–	–	141	143	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1,005	14
17 (S.56)	123	133	144	161	128	–	–	–	–	118	141	–	–	–	–	–	–	–	–	–	948	20
18 (S.57)	132	128	139	130	127	–	–	–	–	159	140	–	–	–	–	–	–	–	–	–	955	12
19 (S.58)	124	130	113	121	110	–	–	–	–	151	134	–	–	–	–	–	–	–	–	–	883	10
20 (S.59)	110	97	120	118	139	–	–	–	–	123	115	–	–	–	–	–	–	–	–	–	822	5
21 (S.60)	120	151	130	123	118	–	–	–	–	131	132	–	–	–	–	–	–	–	–	–	905	10
22 (S.61)	142	134	131	147	130	–	–	–	–	129	122	–	–	–	–	–	–	–	–	–	935	10
23 (S.62)	124	133	149	127	130	–	–	–	–	162	141	–	–	–	–	–	–	–	–	–	966	8
24 (S.63)	96	142	121	116	146	–	–	–	–	136	133	–	–	–	–	–	–	–	–	–	890	4
25 (H.元)	137	113	126	150	135	–	–	–	–	124	130	–	–	–	–	–	–	–	–	–	915	5
26 (H. 2)	124	107	124	108	113	–	–	–	–	110	110	–	–	–	–	–	–	–	–	–	796	6
27 (H. 3)	102	140	116	138	130	–	–	–	–	128	116	–	–	–	–	–	–	–	–	–	870	4
28 (H. 4)	99	139	150	144	144	–	–	–	–	152	143	–	–	–	–	–	–	–	–	5	976	4
29 (H. 5)	136	133	109	131	126	–	–	–	–	128	138	–	–	–	–	–	–	–	–	30	931	5
30 (H. 6)	125	134	117	143	146	–	–	–	–	133	132	–	–	–	–	–	–	–	–	42	972	1
31 (H. 7)	145	160	139	149	131	–	–	–	–	148	151	–	–	–	–	–	–	–	–	63	1,086	2
32 (H. 8)	162	148	157	156	154	–	–	–	–	139	139	–	–	–	–	–	–	–	–	69	1,124	0
33 (H. 9)	137	136	148	157	153	–	–	–	–	161	150	–	–	–	–	–	–	–	–	76	1,118	6
34 (H.10)	106	150	123	151	132	–	–	–	–	126	137	–	–	–	–	–	–	–	–	67	992	4
35 (H.11)	129	120	120	9	132	–	–	–	192	127	132	–	–	–	–	–	–	–	–	60	1,021	1
36 (H.12)	125	125	117	–	140	–	–	–	176	132	119	–	–	–	–	–	–	–	–	50	984	0
37 (H.13)	113	142	121	–	126	–	–	–	217	139	137	–	–	–	–	–	–	–	–	80	1,075	0
38 (H.14)	137	119	116	–	131	–	–	–	228	122	131	68	–	–	–	–	–	–	–	92	1,144	1
39 (H.15)	99	121	99	–	132	–	–	–	199	138	110	112	–	–	–	–	–	–	–	95	1,105	1
40 (H.16)	95	105	109	–	116	–	–	–	209	111	117	101	–	–	–	–	189	–	–	95	1,247	0
41 (H.17)	117	80	120	–	91	–	–	–	183	116	74	84	–	95	–	–	172	–	–	99	1,231	3
42 (H.18)	119	81	115	–	99	–	–	–	201	114	81	113	–	100	–	–	178	–	–	109	1,310	0
43 (H.19)	99	80	103	–	102	–	–	–	183	118	72	91	–	95	–	–	157	123	–	118	1,341	0
44 (H.20)	107	75	86	–	109	–	–	–	168	93	81	119	–	100	–	–	136	106	–	100	1,280	0
45 (H.21)	96	75	101	–	97	–	–	–	165	96	86	71	–	149	–	–	140	130	80	104	1,390	0
46 (H.22)	80	74	100	–	90	–	65	–	169	69	57	2	–	120	33	–	124	127	60	101	1,271	0
47 (H.23)	82	44	87	–	89	20	42	–	146	66	29	1	–	118	45	–	91	130	80	133	1,203	1
48 (H.24)	67	45	91	–	97	27	39	–	117	57	5	–	–	87	23	64	91	117	63	137	1,127	0
49 (H.25)	68	43	68	–	75	30	50	–	121	70	–	–	24	85	30	67	107	122	59	101	1,120	0
50 (H.26)	75	64	56	–	81	43	63	–	135	69	–	–	30	60	28	63	85	112	78	104	1,146	0
51 (H.27)	80	1	68	–	66	51	10	70	103	76	–	–	53	73	26	60	84	97	77	74	1,069	0
52 (H.28)	65	1	69	–	65	54	3	76	112	53	–	–	39	70	22	60	79	97	76	64	1,005	0
合計	6,609	5,466	6,058	4,212	4,491	225	272	146	3,024	6,712	3,901	762	146	1,152	207	314	1,633	1,161	573	2,068	49,132	367

● 工学部

E　電子工学科、電気電子工学科
G　電子物性工学科、電子材料工学科、応用化学科
H　電子機械工学科
I　経営工学科
J　精密工学科、知能機械工学科、機械工学科
N　基礎理工学科
Z　環境技術学科
U　環境科学科

● 情報通信工学部

P　情報工学科
F　通信工学科
K　応用電子工学科、光システム工学科、光・エレクトロニクス学科

● 工学部２部

R　電子工学科
V　機械工学科

● 金融経済学部

A　アセット・マネジメント学科

● 医療福祉工学部

L　医療福祉工学科
Y　理学療法学科
S　健康スポーツ科学科

● 総合情報学部

Q　メディア情報文化学科、デジタルアート・アニメーション学科
W　デジタルゲーム学科
T　メディアコンピュータシステム学科

● 大学院

M　前期課程
D　後期課程

※総合計は、学部卒業生で大学院修了生は重複します。

第１号議案
平成27年度事業報告

・創立して半世紀を越え、平成27年度に51年目を迎えた友電会は、「同窓の力を結集して親睦を図り、母校に貢献する」を基本方針に推進して会員相互の親睦はもとより、母校と会員の絆を深めながら、新たな気持ちで新時代に飛躍する姿勢で活動を行った。
・母校の支援事業として立ち上げた「教育懇話会」と「友電会企業家同友会」の活動を活発化した。
・これまでの教育部会を発展させた「教育懇話会」は平成27年７月に「教員への道のりと生きがい」をテーマにした教育座談会を開催した。友電会OB教職員と将来教育関係の職を目指す現役学生によるパネルディスカッションを行い、学校教育に従事する意義や教育者としてのあり方についての意識を深めた。
・「企業家同友会」は卒業生の企業家により平成25年度に立ち上げたもので、産学連携・企業間の交流活動を活発化することにあるが、平成27年９月に母校・就職部職員との意見交換会を開催し、大学生の就職状況や母校学生への就職支援などをテーマに活発な意見交換を行った。
・寝屋川周辺の小中学生を対象にした友電会主催のロボット教室を年10回開催し、母校のＰＲ活動や地域社会への貢献活動を行った。
・機関誌の友電会誌は大学のＰＲへの協力と、友電会活動のＰＲに欠かせない媒体として活用されているが、本年も「総会通知号」（５月発行）と「新卒生･新入生特集号」（３月発行）の年２回刊行した。
・大学の支援・協力のもと友電会が50周年を迎えることができたことへの恩返しとして、80インチ大型テレビ(50周年記念品)を寝屋川・四條畷キャンパスにそれぞれ寄贈した。
・法人化については、法人化委員会に選出された７名の委員が中心となって、一般社団法人の創設を目指し、法人化後の組織構成や代議員制社員の人数・選定方法、及び終身会費徴収方法等について協議した。

■平成27年度事業報告（平成27年４月１日～平成28年３月31日）

■第５条第１項　研究発表会、講習会、座談・懇談会などを開催した

●研究発表会

・大学祭時に「エレクトロニクス展」を後援し、ロボット講習会などを支援した。

●講演会・座談会等

・企業家同友会と教育懇話会を開催して懇談を行った。
・総会で水本雅晴名誉教授の記念講演会を開催した。

◆（平成28年４月～６月）・上記事業を機会あるごとに実施した。

■第５条第２項　機関誌、その他の刊行

・会誌「ゆうでんかい」123号を５月に、124号を３月に発刊した。

◆（平成28年４月～６月）・会誌（総会号）を５月に発刊した。

■第５条第３項　大阪電気通信大学発展のための事業

●母校発展のための事業

・法人理事と法人評議員を送り、母校の経営に参画、発展に協力した。
・卒業生の謝恩パーティーに協力・援助（２月、３月）した。
・「後援会・友電会貸与奨学金制度」に出資し拡充、「在学生短期貸付制度」を継続した。
・「第38回卒研室対抗ソフトボール大会」を９月に開催し、23研究室約320名が参加した。
・友電会創立50周年記念品として、大型テレビ２台を母校に寄贈した。

●クラブなど学生団体の活性化と発展のための事業を推進

・クラブ活動助成金を学生課を通して渡し、クラブ活動の活性化と発展に寄与した。

●母校の環境整備の一環として緑化推進

・その他、母校発展のための事業を推進した。

◆（平成28年４月～６月）・上記事業の継続と充実を図った。

■第５条第４項　会員相互の親睦と連絡

●「友電会ネットワーク」

・会員諸氏への情報提供の一環としてホームページを充実させた。特に友電会はもとより、母校の情報を掲載した。

●親睦と連絡関係の事業

・平成27年度総会を６月に開催し、同時に懇親会を「緑樹会」、「クラブ同窓会」と共催して、親睦を深めた。
・母校・学園、その他関連団体等と情報交換を通じ相互理解を図った。
・各支部に助成、現支部の活性化とともに支部の新設推進を図った。
・大学祭時に「友電会サロン」を設置し、来学した会員の休憩・懇親の場を提供するとともに「友電会サロンパーティー」を開催し、会員相互の親睦を図り、大学主催のホームカミングデー行事にも協力して参加した。

◆（平成28年４月～６月）・機会あるごとに会員相互の親睦と連絡を密にした。

■第５条第５項　その他、目的を達成するための事業

●会議

・平成27年度総会を６月に開催した。
・理事会定例６回、評議員会定例３回、及びそれぞれ臨時の会議を開催し、会の運営、事業・活動を推進した。
・三役会、各部会、各委員会を機会あるごとに開催し、会の運営と事業・活動を行った。
・全国支部長会を開催し、支部活性化と新設を推進した。

◆（平成28年４月～６月）・機会あるごとに会員相互の親睦と連絡を密にした。

第２号議案
平成27年度収支決算報告

・平成27年度は、金融経済学部入学者の同窓会費も繰り込まれ、入学者1,303名から2,606万円の会費収入があった。また、前年度からの繰越金は、金融経済学部の同窓会費514万円が含まれ、約1,022万円であった。
・会議費・交通費は、前年度よりも約10%増の285万円で予算化したが、臨時理事会の開催等で予算より約44万円超過した。
・部会・委員会活動費は、法人化委員会、検証委員会、次期役員選考委員会の開催により、予算よりも約31万円超過した。
・総会は学内で開催し、一人３千円の懇親会費を集め、予算150万円内に収めることができた。
・友電会誌は総会号(123号)と３月号(124号)の年２回を発刊し、機関誌製作費は約370万円を支出した。
・阪神大学野球連盟２部リーグに優勝した硬式野球部と理工科学生柔道優勝大会で３位に入賞した柔道部に対して表彰式を行い、クラブ助成費より報奨金25万円を支出した。
・友電会ホームページの老朽化に伴い、webページのリニューアル制作費に予備費から約100万円を支出した。
・例年、大学との協調関係から行っていた基本財産繰入金(在学生奨学金)200万円の支出は後援会との共同出資により一定の金額まで積み立てられたため不要となったが、今年度は今後の基金不足を考慮して奨学金準備金200万円を計上していた。しかし、当面は基金不足の心配がないため、基本財産への繰入れを見送った。
・寝屋川・四條畷の両キャンパスにそれぞれ友電会50周年記念品(大型テレビ)寄贈のため、「友電会記念事業積立金」300万円と同積立金の繰越金135万円から、約430万円を支出した。
・今年度は会議費・交通費等の超過やホームページリニューアル制作費の追加等があったが、それ以外はほぼ計画通りに予算執行された。次年度への繰越金は1,162万円となる。

■平成27年度収支決算

◆収入の部　（平成27年４月１日～平成28年3月31日）　単位：円

科　目	平成27年度予算(A)	決　算(B)	差額(B－A)
運用財産収入(預金利息)	50,000	57,322	7,322
会費収入	25,000,000	26,060,000	1,060,000
寄付・広告収入	10,000	10,000	0
緑化募金	0	42,000	42,000
総会収入(懇親会)	100,000	444,000	344,000
会誌購読収入	30,000	96,100	66,100
雑収入	0	4,500	4,500
友電会記念事業積立金取崩	0	4,353,124	4,353,124
前年度からの繰越金	10,221,000	10,221,927	927
合　計	35,411,000	41,288,973	5,877,973

◆支出の部　（平成27年4月1日～平成28年3月31日）　単位：円

科　目	平成27年度予算(A)	決　算(B)	差額(A－B)
事務局費	8,250,000	8,737,814	-487,814
給料諸手当(弁護士、会計士等)	3,000,000	2,848,066	151,934
事務費	1,500,000	1,490,578	9,422
諸雑費	50,000	65,280	-15,280
会議費・交通費	2,850,000	3,289,820	-439,820
三役・法人評議員活動費	450,000	335,800	114,200
部会・委員会活動費	400,000	708,270	-308,270
事業費	12,770,000	16,464,317	-3,694,317
総会費	1,500,000	1,422,920	77,080
名簿製作費(台帳)	400,000	274,212	125,788
機関誌製作費	4,500,000	3,649,069	850,931
学史編纂調査費	180,000	193,000	-13,000
通信費	2,900,000	2,674,072	225,928
厚生費	540,000	311,220	228,780
(大学事業・関連事業)	270,000	220,420	49,580
(慶弔費)	270,000	90,800	179,200
支部運営助成費	1,550,000	1,312,000	238,000
(支部長会議費)	30,000	2,000	28,000
(支部開拓費)	100,000	0	100,000
(支部費)	1,420,000	1,310,000	110,000
クラブ活動助成金	400,000	650,000	-250,000
HP関係費	300,000	1,401,882	-1,101,882
教育懇話会費	200,000	198,000	2,000
ロボット教室活動費	300,000	80,622	219,378
友電会記念事業費	0	4,297,320	-4,297,320
教育・研究助成費	2,400,000	1,469,810	930,190
母校発展促進費	200,000	0	200,000
教育・研究促進費	200,000	140,000	60,000
学内講演(研究)費	200,000	6,900	193,100
準会員助成費	1,800,000	1,322,910	477,090
基本財産繰入金	2,000,000	0	2,000,000
在学生奨学金	0	0	0
奨学金準備金	2,000,000	0	2,000,000
法人化積立金	0	0	0
法人化繰入金	0	0	0
友電会記念事業積立金	3,000,000	3,000,000	0
予備費	6,991,000	0	6,991,000
次年度繰越金	0	11,617,032	-11,617,032
合　計	35,411,000	41,288,973	-5,877,973

第３号議案
平成27年度一般会計剰余金処分案

・平成27年度の一般会計の剰余金は11,617,032円となった。剰余金は「平成28年度への繰越金」として、平成28年の事業・活動資金とする。

特別会計

■平成27年度海外教育研修特別会計収支決算書

（平成27年4月1日～平成28年3月31日）　単位：円

◆収入の部

前年度からの繰越金	8,891,343
利息・配当金	2,183
合　計	8,893,526

◆支出の部

事務費	0
研修同行費	0
会議費	0
次年度繰越金	8,893,526
合　計	8,893,526

■平成27年度英会話研修特別会計収支決算書

（平成27年4月1日～平成28年3月31日）　単位：円

◆収入の部

前年度からの繰越金	2,062,650
研修申し込み手数料	0
合　計	2,062,650

◆支出の部

事務費等	0
次年度繰越金	2,062,650
合　計	2,062,650

■平成27年度海外教育研修・英会話研修特別会計貸借対照表

（平成28年3月31日）　単位：円

◆資産の部

現金	0
普通預金	0
定期預金	10,956,176
合　計	10,956,176

◆負債・基本財産の部

海外教育研修積立金	8,893,526
英会話研修積立金	2,062,650
合　計	10,956,176

■平成27年度貸借対照表総括

平成28年3月31日　単位：円

資産の部		負債・純資産の部	
勘定科目		勘定科目	
現金	284,588	法人化準備預り金	5,670,000
普通預金	157,356,903	預り金	1,320,000
定期預金	210,956,176	未払金	939,600
郵便貯金	8,125	（負債計）	7,929,600
在学生短期奨学金	2,000,000	基本金	125,067,984
在学生奨学基金	70,500,000	法人化積立金	285,535,000
		海外教育研修積立金	8,893,526
		英会話研修積立金	2,062,650
		剰余金	11,617,032
		（純資産計）	433,176,192
合　計	441,105,792	合計	441,105,792

■平成27年度一般会計貸借対照表

平成28年3月31日　単位：円

資産の部		負債・純資産の部	
勘定科目		勘定科目	
現金	284,588	法人化準備預り金	5,670,000
普通預金	157,356,903	預り金	1,320,000
定期預金	200,000,000	未払金	939,600
郵便貯金	8,125	（負債計）	7,929,600
在学生短期奨学金	2,000,000	基本金	125,067,984
在学生奨学基金	70,500,000	法人化積立金	285,535,000
		剰余金	11,617,032
		（純資産計）	422,220,016
合計	430,149,616	合計	430,149,616

■平成27年度一般会計財産目録

平成28年3月31日　単位：円

資産の部		負債の部	
1．現金	284,588	1．法人化準備預り金	5,670,000
事務局手元有り高		2．預り金	1,320,000
2．郵便貯金	8,125	3．未払金	939,600
寝屋川郵便局			
3．普通預金	157,356,903		
三井住友銀行／寝屋川	(60,028,144)		
京都信用金庫／寝屋川	(57,131,358)		
三菱東京UFJ銀行／寝屋川	(40,197,401)		
4．定期預金	200,000,000		
三井住友銀行／寝屋川	(190,000,000)		
京都信用金庫／寝屋川	(10,000,000)		
5．在学生短期奨学金	2,000,000		
大学学生課に預け入れ			
6．在学生奨学基金	70,500,000		
奨学金委員会に預け入れ			
資産合計	430,149,616	負債合計	7,929,600
純資産			422,220,016

監査報告

平成28年4月16日

平成27年度事業報告書および平成27年度収支決算書を監査した結果、適正に執行されていることを認めます。

監事　守上芳士
尼丁正寄 ㊞
澤井　剣 ㊞

第４号議案

平成28年度事業計画案

・平成28年度は、役員の改選の年であり、新たな会長のもと「同窓の力を結集して親睦を図り、母校に貢献をする」を基本方針に、会員相互の親睦はもとより、母校と会員の絆を深めながら支援協力体制を推進する。
・本年度も、卒業生の企業家による「友電会企業家同友会」による産学連携・企業間の交流活動や「教育懇話会」を活発化して、今後の入試と学生の就職支援に繋げていき、母校に寄与できる活動として推進する。
・就職支援活動を積極的に進めていくなかで、母校の正規授業である「キャリア入門」、「キャリア設計」などへのOB講師の派遣等を充実し、母校と在学生の求めに対応した支援協力体制を維持していく。
・機関誌の友電会誌は大学のPRへの協力と、友電会活動のPRに欠かせない媒体として活用されているが、本年も「総会通知号」（５月発行）と「新卒生・新入生特集号」（３月発行）の年２回刊行体制とする。
・今年の４月にリニューアルしたホームページの内容を充実し、友電会はもとより大学の情報を掲載していく。
・友電会の法人化については、平成26年度友電会通常総会で法人化への移行推進が決議されてから、法人化委員会を設置して準備を進めている。
・本年度は、一般社団法人の創設を目指し、司法書士に依頼する定款作成の仕様を作成していくなど、より法人化への移行取り組み活動を活発化する。

■平成28年度事業計画案（平成28年４月１日～平成29年３月31日）

■第５条第１項　研究発表会、講習会、座談・懇談会などの開催

●研究発表会

・大学祭時に「エレクトロニクス展」後援、機会あるごとに研究発表会等に支援する。
・地域貢献事業のロボット教室を活発化する。

●講演会・座談会等

・機会あるごとに座談会を開催する。
・記念講演会をはじめ、機会あるごとに講演会を開催する。
・母校の正規授業の「工学入門」「キャリア支援講座」へのOB講師の派遣。OB講演者の登録を制度化し、母校の求めに対応していく。
・以上の模様は、友電会誌、ホームページに逐次広報する。

◆（平成29年４月～６月）・上記事業を機会あるごとに実施

■第５条第２項　機関誌、その他の刊行

・会誌「ゆうでんかい」を発刊する。
・「学史編さん室」―母校、友電会の「歴史」を綴っていく。

◆（平成29年４月～６月）・会誌（総会号）を５月に発刊

■第５条第３項　大阪電気通信大学発展のための事業

●母校発展のための事業

・法人理事と法人評議員を送り、母校の経営に参画、発展に協力する。
・卒業生の謝恩パーティーに協力・援助（２月、３月）。
・「第39回卒研室対抗ソフトボール大会」を９月ごろに開催する。

●クラブなど学生団体の活性化と発展のための事業を推進

・クラブ活動助成金を渡し、クラブ活動の活性化と発展に寄与する。

●母校の環境整備の一環として緑化推進

・その他、母校発展のための事業を推進する。

◆（平成29年４月～６月）・上記事業の継続と充実

■第５条第４項　会員相互の親睦と連絡

●「友電会ネットワーク」

・会員諸氏への情報提供の一環としてホームページを充実する。特に友電会はもとより母校の情報も掲載していく。

●親睦と連絡関係の事業

・平成28年度総会を６月に開催し、同時に懇親会を「緑樹会」、「クラブ同窓会」と共催して、親睦を深める。
・母校・学園、その他関連団体等と情報交換を通じ相互理解を図る。
・各支部に助成、現支部の活性化とともに支部の新設推進を図る。
・大学祭時に「友電会サロン」を設置し、来学した会員の休憩・懇親の場を提供するとともに「友電会サロンパーティー」を開催し会員相互の親睦を図る。大学主催のホームカミングデー行事に協力して参加する。

◆（平成29年４月～６月）・機会あるごとに会員相互の親睦と連絡を密にする

■第５条第５項　その他、目的を達成するための事業

●会議

・平成28年度総会を６月に開催する。
・理事会定例６回、評議員会定例３回開催し会の運営、事業・活動を推進する。
・三役会、各部会、各委員会を機会あるごとに開催し、会の運営と事業・活動を行う。
・全国支部長会を開催し、支部活性化と新設を推進する。

●その他

・支部との情報交換、母校など関係団体等との交流を通じて、会活動の充実と円滑な運営を推進する。

◆（平成29年４月～６月）・上記会議等を機会あるごとに開催し会の運営を図る

第５号議案
平成28年度収支予算案

・平成28年度の入学者は前年度並みと見込むが、不確定要素もあるため会費収入を2,400万円とする。
・事務局体制および広報活動の強化のため、有給のスタッフを１名雇用する。その人件費として給与諸経費を300万円増額する。
・今年度は関西以外の役員の割合が増すため、会議費・交通費を前年度の約10%増とした315万円とする。
・総会は平成28年度も学内開催として３千円程度の有料化とし、総会費は昨年と同じ150万円とする。
・支部主催の「ものづくり教室」への支援のため、１回あたり１万円の助成として、10万円の支部イベント費を新設する。
・支部運営助成費は、新たに設立予定の大阪支部の支部費10万円と支部イベントを加え、175万円とする。
・クラブ活動を支援するため、クラブ活動助成金を昨年度と同じ40万円とする。
・教育懇話会の活動費に20万円を支出し、企業家同友会の活動費には10万円を新設する。
・地域社会への貢献活動の一環で在学生を巻き込んだ活動として、４年の実績がある「友電会主催ロボット教室」への支援活動費30万円を支出する。
・機関誌製作費は年２回の発刊とし、今年度と同じ450万円とする。
・予備費は、平成26年度に繰込まれた金融経済学部会費を含め約870万円とする。

■平成28年度収支予算

◆収入の部　（平成28年４月１日～平成29年６月30日）　単位：円

科　目	平成27年度予算	平成28年度予算	平成29年４～６月
運用財産収入（預金利息）	50,000	50,000	10,000
会費収入	25,000,000	24,000,000	24,000,000
寄付･広告収入	10,000	10,000	0
総会収入（懇親会）	100,000	100,000	100,000
会誌購読収入	30,000	30,000	10,000
雑収入	0	0	0
前年度からの繰越金	10,221,000	11,617,032	0
合計	35,411,000	35,807,032	24,120,000

◆支出の部　（平成28年４月１日～平成29年６月30日）　単位：円

科　目	平成27年度予算	平成28年度予算	平成29年４～６月
事務局費	8,250,000	11,600,000	2,710,000
給料諸手当（弁護士、会計士等）	3,000,000	6,000,000	1,000,000
事務費	1,500,000	1,500,000	500,000
諸雑費	50,000	50,000	10,000
会議費・交通費	2,850,000	3,150,000	1,000,000
三役・法人評議員活動費	450,000	500,000	100,000
部会・委員会活動費	400,000	400,000	100,000
事業費	12,770,000	13,120,000	7,410,000
総会費	1,500,000	1,500,000	1,500,000
名簿製作費（台帳）	400,000	400,000	100,000
機関誌製作費	4,500,000	4,500,000	2,500,000
学史編纂調査費	180,000	180,000	100,000
通信費	2,900,000	2,900,000	2,000,000
厚生費	540,000	540,000	300,000
（大学事業・関連事業）	270,000	270,000	150,000
（慶弔費）	270,000	270,000	150,000
支部運営助成費	1,550,000	1,750,000	160,000
（支部長会議費）	30,000	30,000	10,000
（支部開拓費）	100,000	100,000	50,000
（支部費）	1,420,000	1,520,000	100,000
（支部イベント費）	0	100,000	10,000
クラブ活動助成金※	400,000	400,000	250,000
HP関係費	300,000	350,000	300,000
教育懇話会費	200,000	200,000	100,000
企業家同友会	0	100,000	50,000
ロボット教室活動費	300,000	300,000	100,000
教育・研究助成費	2,400,000	2,400,000	250,000
母校発展促進費	200,000	200,000	50,000
教育・研究促進費	200,000	200,000	50,000
学内講演（研究）費	200,000	200,000	50,000
準会員助成費	1,800,000	1,800,000	100,000
基本財産繰入金	2,000,000	0	0
在学生奨学金	0	0	0
奨学金準備金	2,000,000	0	0
法人化積立金	0	0	0
法人化繰入金	0	0	0
友電会記念事業積立金	3,000,000	0	0
予備費	6,991,000	8,687,032	0
合　計	35,411,000	35,807,032	10,370,000

※クラブ活動助成金　学生のクラブ活動支援として学生課を通じて助成。

第６号議案　平成28年度友電会役員案

●理事：21名

福田　武（E02）現
川口明良（F04）現　法人評議員
小松周治（F06）新任　九州支部長
段安義彦（F06）現　京都支部長
吉田祐三（F06）現
志村哲樹（F07）現　東海総支部長
野田鐘一（F07）現
廣瀬一夫（F07）新任(元)
山口文男（H07）現　関東総支部長
水谷元也（E08）現
岡本清孝（H11）現　法人評議員
内野正道（F12）新任
小林守正（H12）新任　神戸副支部長
廣谷　明（F12）現　法人理事
辻　佳彦（H13）現　法人評議員
森石峰一（F14）現
山崎敏之（F14）現　奈良副支部長
澤居比佐夫（H17）現　びわこ支部長
藤田英治（E22）現
中田亮生（D32）新任
柴垣佳明（D33）現

●監事：３名

池田　清（I05）新任
吉川博史（I05）新任
尼丁正寄（F08）

●法人評議員：２名

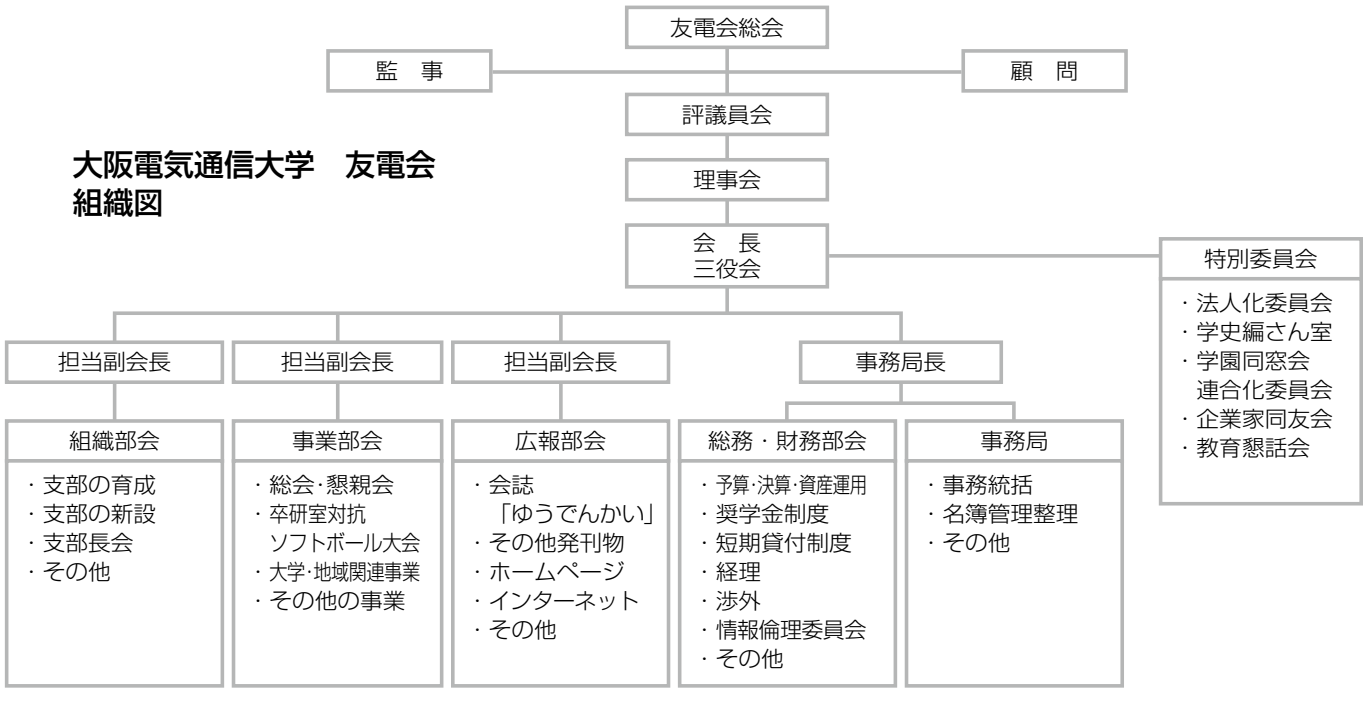
畝本正一（E07）
堀江健二郎（H14）

■ 友電会支部と支部長

支部名	支部長・卒業学科・期	支部名	支部長・卒業学科・期	支部名	支部長・卒業学科・期
関東総支部	山口文男（H07）	東海総支部	志村哲樹（F07）	神戸支部	幸村常一（H16）
北関東支部	山口文男（H07）	静岡支部	久保田陽一（F05）	三田支部	小西　巌（E02）
茨城支部	木村功一（F09）	びわこ支部	澤居比佐夫（H17）	石川支部	辻　久也（I13）
千葉支部	佐藤渉一（I10）	京都支部	段安義彦（F06）	九州支部	小松周治（F06）
神奈川支部	田谷利明（F07）	奈良支部	松井俊樹（I13）	北米支部	高岸英人（F17）

各支部の情報は友電会ホームページで http://www.yudenkai.org/

大阪電気通信大学　友電会 組織図



第７号議案　平成28年度評議員案

平成28年度評議員は、８名が新任、７名が退任、合計218名となります。
氏名の後に○がある評議員は新任(元)、△は新任です。

〔第１期生〕
青木政治（E01）
大角武紘（E01）
大塚敏兼（E01）
白岩義則（E01）
高妻泰作（E01）
西原正明（E01）
羽渕完俊（E01）
藤崎紘久（E01）
堀中英昭（E01）
宮崎　孝（E01）
臼井　宏（E01）
安　弘（F01）
國次　茂（F01）
野村康明（F01）

〔第２期生〕
桜木親房（E02）
池本善一（E02）
上杉靖男（E02）
小西　巖（E02）
谷口一雄（E02）
福田　武（E02）
藤野雅也（E02）
猿渡　洋（F02）
本田頌次（F02）
吉田栄治（F02）

〔第３期生〕
稲垣　肇（E03）
富田淳一（E03）
石本時堯（E03）
井上　徹（E03）
竹本信之（E03）
成子一誠（E03）
原　一夫（E03）
中島俊一（E03）
野田哲治（F03）
菅野和夫（F03）
辻　喜代克（F03）
廣沢　洋（F03）
三橋長夫（F03）
宮本公明（F03）

〔第４期生〕
辻　勝久（E04）
北森弘樹（E04）
中西義一（E04）
観野福太郎（E04）
藤原公彦（E04）
大下真二郎（F04）
川口明良（F04）
中島良造（F04）
藤田順彦（F04）

〔第５期生〕
木村正彦（E05）
中尾　稔（E05）
中野正三（E05）
守上芳士（E05）
岩本吉男（F05）
大野一廣（F05）
尾方康祐（F05）
久保田陽一（F05）
山口朝弘（F05）
御崎正吾（G05）
木村幸治（G05）
香西順治（G05）
坂上晃一（G05）
高岡　亨（G05）
玉置　寛（G05）
堀内定夫（G05）
堀井　浩（G05）
薮野美律（G05）
池田　清（I05）
吉川博史（I05）

〔第６期生〕
奥村義美（E06）
兵藤敏夫（E06）
吉岡　睦（E06）
段安義彦（F06）
吉田祐三（F06）
金谷武美（F06）
小松周治（F06）
田中稲夫（F06）
中山　修（F06）
湯場崎直養（F06）
大下正二郎（G06）
北川　昇（H06）
大川恒一（H06
阪本和夫（H06）
松伏正隆（H06）
横道一雄（H06）
前田　實（I06）
荒木秋男（I06）
国松敬三（I06）
藤本　明（I06）

〔第７期生〕
稲原廣法（E07）
五條純一（E07）
宿谷幸男（E07）
宮本常徳（E07）
畝本正一（E07）
蝉　正敏（F07）
志村哲樹（F07）
田谷利明（F07）
寺田　豊（F07）
野田鐘一（F07）
長谷川　洋（F07）
廣瀬一夫（F07）○
吉田博由（F07）
中口　武（G07）
松本好史（G07）
一谷　醇（H07）
田甫佐雅博（H07）
丹羽弘己（H07）
山口文男（H07）
井平佳秀（I07）
平岡　臨（I07）

〔第８期生〕
相羽政信（E08）
石川智之（E08）
水谷元也（E08）
尼丁正寄（F08）
藤井修逸（F08）
幸田秀雄（G08）△
鎌谷英一（H08）
新垣忠克（H08）
中出知伸（I08）
宇野茂嗣（I08）
船越　亨（I08）△

〔第９期生〕
木村功一（F09）
宮崎一幸（F09）
栗栖敏朗（F09）
大音博司（G09）
岡川正寛（H09）
下野哲生（H09）
森　和明（H09）
工藤英男（I09）
平林一夫（I09）
深野隆司（I09）

〔第10期生〕
井野川　一（E10）
北地憲治（E10）
山崎貞彦（E10）
赤木俊雄（G10）
山崎洋一郎（H10）
佐藤渉一（I10）

〔第11期生〕
松田　啓（F11）
佐脇弘泰（G11）
鬼原治紀（G11）
小舟定行（G11）
岡本清孝（H11）

〔第12期生〕
内野正道（F12）
廣谷　明（F12）
秋田良八（H12）
恩智博司（H12）
小林守正（H12）

〔第13期生〕
朝田健嗣（E13）
榊原秀之（H13）
辻　佳彦（H13）
松井俊樹（I13）
辻　久也（I13）

〔第14期生〕
森石峰一（F14）
山崎敏之（F14）
倉中　宏（G14）
津本雅章（H14）
堀江健二郎（H14）
細川雅巳（I14）
田中二郎（I14）

〔第15期生〕
森蔭剛久（E15）
小寺澤隆司（E15）
江畑栄二（F15）
宮條研次（F15）
皆川重裕（G15）
神山清明（H15）△
沖　洋一（I15）
山下友彦（J15）

〔第16期生〕
岡本宣正（E16）
渡辺員行（E16）
幸村常一（H16）
島田慎太郎（H16）

〔第17期生〕
園田和之（F17）
國友志保（F17）
高岸英人（F17）
澤居比佐夫（H17）
元花　修（H17）
松江　宏（I17）

〔第18期生〕
田中庸介（E18）
生駒京子（I18）
加藤常員（I18）

〔第19期生〕
竹田治英（F19）

〔第20期生〕
奥田　裕（H20）
阪井　誠（H20）
中川雅弘（H20）
中前浩也（H20）

〔第21期生〕
坂本　充（H21）△

〔第22期生〕
藤田英治（E22）

〔第23期生〕
熊谷寿倫（F23）
竹内和生（I23）
蕭　烱森（K23）
三砂博一（K23）

〔第24期生〕
澤井　剣（G24）
廣瀬修一（G24）

〔第25期生〕
渡部　孝（G25）
松浦信夫（H25）
井口兼彦（H25）

〔第26期生〕
西尾博道（F26）

〔第27期生〕
奥泉大輔（H27）

〔第28期生〕
早野秀樹（E28）
清水　良（F28）

〔第29期生〕
伏本和人（I29）
井内友昭（M29）
森　和義（M29）
松尾賢一（M29）

〔第30期生〕
大野　守（M30）

〔第31期生〕
新川拓也（M31）

〔第32期生〕
中田亮生（D32）
櫻木嘉典（E32）

〔第33期生〕
柴垣佳明（D33）

〔第35期生〕
山村友律（J35）

〔第36期生〕
金野洋明（M36）
長谷川慎二（G36）△

〔第39期生〕
澤田正雄（P39）

〔第40期生〕
三上哲夫（M40）

〔第41期生〕
西川達也（M41）

〔第44期生〕
村上豊裕（G44）

〔第45期生〕
竹中浩之（F45）

〔第48期生〕
中島拓哉（E48）△

〔第49期生〕
辻　琢磨（D49）

〔第50期生〕
嶋村拓都（M50）△

以上218名

○印　新任(元)１名
廣瀬一夫（F07）

△印　新任７名
幸田秀雄（G08）
船越　亨（I08）
神山清明（H15）
坂本　充（H21）
長谷川慎二（G36）
中島拓哉（E48）
嶋村拓都（M50）

退任２名
横木久治（H08）
高田憲幸（F14）

死亡退任１名
海野　徹（K18）

住所不明退任４名
安田一明（F05）
中田康夫（H06）
團　正則（J15）
竹中　章（J22）

平成27年度会員物故者

清水嘉彦（E02）
岡本　清（I07）
関山　徹（I10）
平山博幸（I11）
佐合泰幸（K11）
野坂昌夫（G12）
佐々木鉄典（I13）
田多英三郎（J16）
海野　徹（K18）
後藤浩文（G23）
福田　啓（I33）
吉津宏樹（K33）

大阪電気通信大学　友電会定款

第１章　総　　則

第１条　本会は大阪電気通信大学友電会と称する。
第２条　本会は事務所を大阪府寝屋川市初町18番８号大阪電気通信大学内に置く。
第３条　本会は理事会の議決を経て支部を設けることが出来る。支部設置規則は、この定款の細則として別に定める。支部には支部長を置く。

第２章　目的および事業

第４条　本会は大阪電気通信大学と緊密に連繋を保持し、その発展に協力し会員相互の親睦と研修を図ると共に教育、学術、文化の発展に寄与することを目的とする。
第５条　本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
①研究発表会、講習会、座談会等の開催
②機関誌、その他の刊行
③大阪電気通信大学発展のための事業
④会員相互の親睦と連絡
⑤その他、目的を達成するための事業

第３章　会　　員

第６条　本会の会員は次の通りとする。
①正会員
　学校法人大阪電気通信大学が設置した大学の学部、大学院を卒業、または修了した者で、卒業時あるいは修了時までに所定の入会金および会費を納めた者
②準会員
　学校法人大阪電気通信大学が設置する大学の学部、大学院に在籍している学生で、所定の入会金を納めた者
③特別会員
　学校法人大阪電気通信大学が設置する大学の学部、大学院に専従する教職員である者
④賛助会員
　本会の目的に賛同し、その事業を援助する者で、理事会の承認を得た個人または団体
⑤名誉会員
　本会の目的達成に多くの貢献をした者で理事会の決議を経て推薦された個人
第７条　会員は総会を組織し、総会の議決に加わる。
２、会員は本会の目的事業の遂行に積極的に協力するとともに、本会の会員としてふさわしくない行為をしてはならない。
３、会員は本会の行う事業に対し、優先的にその利益を受けることが出来る。
第８条　会員は次の理由によりその資格を喪失する。
①脱　退
②死亡および失跡宣言
③除　名
第９条　会員が次の各号の一に該当するときは総会の議決を経て、会長がこれを除名することが出来る。
①本会の会員としての義務に違反したとき
②本会の名誉を傷つけ、または本会の目的に反する行為があったとき
第10条　既納の入会金および会費等はいかなる理由があっても、これを返還しない。

第４章　役員、評議員、顧問および職員

第11条　本会には次の役員を置く。
理事10名以上21名以内(うち会長１名、副会長３名、事務局長１名を含む)。
監事３名。
理事および監事は評議員会で選出し総会で承認を得る。
理事は互選で会長１名、副会長３名、事務局長１名を決める。理事は会長の指名により財務担当をはじめとする会務を分担する。
監事は理事を兼任出来ない。
第12条　会長は本会の業務を総理し本会を代表する。
２、副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、または欠けたときは会長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。
第13条　理事は理事会を組織し、この定款に定めるもののほか、総会より委任せしめられた事項は議決し、執行する。
第14条　監事は友電会業務、財産の運用、会計の処理等の監査を行う。
第15条　本会の役員の任期は２年とする。ただし再任を妨げない。
２、補欠による役員の任期は前任者の残任期間とする。
３、役員はその任期満了後でも後任者が就任するまではその職務を行う。
４、役員は本会の役員としてふさわしくない行為があった場合、または特別の事情があった場合には、その任期中であっても理事会の議を経て評議員会の議決により、会長がこれを解任することが出来る。
第16条　役員は有給とすることが出来る。
第17条　本会には評議員を若干名置く。
２、評議員は評議員会を組織し、この定款に定めるもののほか、総会より委任せしめられた事項を議決する。また理事会の諮問に応ずる。
３、評議員の任期は２年とする。ただし再任は妨げない。
第18条　本会の評議員は次の通りとする。
①正会員のうちから卒業年度別に総会または理事会で選出された者
②支部長
第19条　本会には理事会の議決により顧問を若干名置くことが出来る。
２、顧問は会長がこれを委嘱する。
３、顧問は会長の相談に応ずる。
第20条　本会の事務を処理するため、事務局を設け職員を置くことが出来る。
２、職員は会長が任免する。
３、職員は有給とする。

第５章　会　　議

(理事会)
第21条　理事会は毎年６回会長が招集する。ただし、会長が必要と認めた場合または理事現在総数の３分の１以上、あるいは監事から会議の目的たる事項を示して請求のあったときは、ただちに会長は臨時理事会を招集しなければならない。
２、理事会の議長は会長とする。
第22条　理事会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、理事現在総数の２分の１以上出席し、その出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
２、理事は理事会を欠席する場合、あらかじめ書面をもって意見を表明しなければならない。
３、理事の委任状は出席者とみなされない。ただし、支部長が理事を兼ねた場合に限り、当該支部の役員で、理事でない者が委任状を持参のうえ、代理として出席し、議決と執行

に加わることが出来る。

（評議員会）

第23条　評議員会は毎年３回会長が招集する。ただし会長または監事が必要と認めたとき、または評議員現在総数の２分の１以上から会議の目的たる事項を示して請求のあったときは、会長はその請求のあった日から20日以内に評議員会を招集しなければならない。

第24条　評議員会の議長は会議のつど評議員の互選で決める。

第25条　評議員会の招集は、すくなくとも10日以前にその会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面をもって通知する。

第26条　次に掲げる事項については、理事会においてあらかじめ評議員の意見を聞かなければならない。

①事業計画および収支予算案、ならびに事業報告および収支決算についての事項

②不動産の買入れ、または基本財産の処分についての事項

③その他、本会の業務に関する重要事項で会長において必要と認めた事項

第27条　評議員会は評議員現在数の５分の１以上出席しなければ、その議事を開き議決することは出来ない。ただし、当該議事につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者は、出席者とみなす。

第28条　評議員会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

（総　会）

第29条　通常総会は毎年１回、会計年度終了後90日以内に会長が招集する。

２、臨時総会は理事会または監事が必要と認めたとき、ただちに会長がこれを招集しなければならない。

第30条　会長は会員現在総数の10分の１以上から会議に付議すべき事項を示して、総会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から20日以内に臨時総会を招集しなければならない。

第31条　総会は、すくなくとも10日以前にその会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面をもって通知する。

第32条　次の事項は通常総会に提出して、その承認を受けなければならない。

①事業報告および収支決算ならびに事業計画および収支予算

②財産目録および貸借対照表

③その他理事会において必要と認めた事項

第33条　総会は、会員現在総数の200分の１以上出席しなければ、その議事を開き議決をすることが出来ない。ただし、当該事項につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者は出席者とみなす。

第34条　総会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第35条　総会の議事の要項および議決した事項は会員に通知する。

第36条　総会、理事会および評議員会の議事録は議長が作成し、議長および出席代表２名以上が署名捺印のうえ、これを保存する。

第６章　資産および会計

第37条　本会の収入は次の通りとする。

①入会金および会費

②事業に伴う収入

③資産から生じる果実

④寄付金品

⑤その他の収入

第38条　本会の資産を分けて、基本財産および運用財産の２種類とする。

２、基本財産は、別紙財産目録のうち、基本財産の部に記載する資産および将来基本財産に編入される資産で構成する。

３、運用財産は、基本財産以外の資産とする。ただし、寄付金品であって、寄付者の指定するものはその指定に従う。

第39条　本会の資産は、理事会の決議によって会長が保管する。

２、基本財産のうち、現金は理事会の議決によって確実な有価証券を購入するか、または定額郵便貯金とし、もしくは確実な銀行に信託するか、あるいは定額預金として会長が保管する。

第40条　基本財産は処分し、または担保に供してはならない。ただし本会の事業遂行上、やむを得ない理由があるときは、理事会および総会の議決を得、その一部に限り処分し、担保に供することが出来る。

第41条　本会の事業遂行に要する費用は入会金、会費事業に伴う収入および資産が生ずる果実等の運用財産をもって支弁する。

第42条　本会の事業計画およびこれに伴う収入予算は毎年会計年度開始前に会長が編成し理事会の議決および総会の承認を受けなければならない。なお、事業計画およびこれに伴う収支予算を変更した場合も同様とする。

第43条　本会の決算は、会計年度終了後３ヵ月以内に会長が作成し、財産目録、貸借対照表、事業報告書および会員の異動状況書とともに監事の意見をつけて理事会および通常総会の承認を受けなければならない。

２、本会の決算に剰余金があるとき、理事会の議決および総会の承認を受けて、その一部もしくは全部を基本財産に編入し、または翌年に繰越すものとする。

第44条　収支予算で定めるものを除くほか、新たに義務の負担をし、または権利の放棄をしようとするときは、理事会および総会の議決を経なければならない。

第45条　本会の会計年度は、毎年４月１日に始まり翌年３月31日に終わる。

第７章　定款の変更ならびに解散

第46条　この定款は、理事会および総会おのおの５分の３以上の議決を経なければ変更することが出来ない。

第47条　本会の解散は、理事会および総会おのおの４分の３以上の議決を経なければならない。

第48条　本会の解散に伴う残余財産の処分は理事会および総会おのおの４分の３以上の議決を経てから大阪電気通信大学学長の許可を受けて、本会の目的に類似の目的を有する公益事業に寄付するものとする。

第８章　補　　則

第49条　この定款施行についての細則は、理事会および評議員会の議決を得て別に定める。

第50条　昭和48年11月１日施行
昭和52年５月29日改正
昭和55年６月29日改正
昭和57年６月27日改正
平成３年６月30日改正
平成５年６月27日改正
平成７年６月25日改正
平成13年６月23日改正
平成16年６月26日改正
平成26年６月21日改正

『ホームカミングデー』寝屋川キャンパスで開催

講演する(株)ロック・フィールド代表取締役社長・古塚孝志(K24)氏

母校主催の『ホームカミングデー』が大学祭期間中の11月1日(日)、母校・寝屋川キャンパス・J号館6階小ホールで開催されました。この催しは、卒業生を招き、恩師や同窓生と旧交を温めるとともに、母校の近況を知ってもらうことを目的として毎年開催され、今年で4回目を迎えました。

橘邦英・母校学長が卒業生に「お帰りなさい」と述べ、挨拶の後、母校の卒業生で(株)ロック・フィールド代表取締役社長の古塚孝志(K24)氏に講演していただきました。講演のテーマは「お惣菜のパイオニア企業～ロック・フィールドの挑戦～」で、古塚社長は会社概要や経営理念・価値観などについて話されました。

会場の光景

あいさつする橘邦英学長

「時代や社会のニーズに応えるとともに、次代を見据えて生み出される価値ある惣菜です。その価値の基本(価値観)は『「健康」「安心・安全」「美味しさ」「鮮度」「サービス」「環境」』ですと述べ、「食事には外食、中食、内食があり、お惣菜は『中食』に当たります」とし、この分野の中で新製品を開発してきたと語りました。また、環境の創造に徹した工場等はもちろん、保育所を開設して、共働きの子どもを預かる等してきているとしています。

懇親会の乾杯の光景

この後、参加者は寝屋川キャンパス・Z号館3階の生協食堂で懇親パーティーを開催し親睦を深めていました。会場にはロック・フィールドから提供されたお惣菜も並べられ、「食」を楽しんでいました。

●(株)ロック・フィールド代表取締役社長・古塚孝志(ふるつか たかし)(K24)氏の略歴

- 1988年－母校・工学部応用電子工学科を卒業、(株)ロック・フィールドに入社
- 2007年－執行役員静岡ファクトリー、ファクトリーマネージャー
- 2010年－上席執行役員生産本部長
- 2011年－取締役生産本部長
- 2013 年－常務取締役生産本部長
- 2014年7月－代表取締役社長－現在に至る

母校の『第55回大学祭』―寝屋川キャンパスで開催

母校の『第55回大学祭』(大阪電気通信大学大学祭実行委員会主催)が「バタフライ・エフェクト」のテーマのもとで10月31日(土)～11月1日(日)の2日間、寝屋川キャンパスで開催されました。多くの模擬店が出店されるとともに、クラブやサークルの発表・展示会、ソフトボール大会、ライブが催されました。また、芥川賞受賞作品『火花』で話題のお笑いコンビ「ピース」をはじめ、「ヒューマン中村」、「トット」によるお笑いライブも行われました。

テーマの「バタフライ・エフェクト」は、「蝶の羽ばたきのような小さな変化が積み重なることで大きな変化に繋がる」といった意味が込められているとのこと。

実行委員会では「『変化』という羽を持ち、2日間の祭りへ翔び立とう!!!」と呼びかけていました。

また、岩手県宮古水産高等学校の生徒さんが製品開発に携わった「いわて宮古の海プリン」の模擬店を、

母校有志の学生と学生課が東北復興支援を目的として出店しました。

当日は、テクノフェアやホームカミングデーが同時開催され、多くの人達が来場していました。

「大阪電気通信大学　クラブ同窓会」平成28年度通常総会議案

第１号議案　平成27年度事業報告

＜平成27年度　活動・運営基本方針＞

・学生支援事業の強化(大学祭、ホームカミングデーを含め、新規支援事業を検討)。
・組織フラット化および拡大(各団体・クラブOB会への参画勧誘等)。
・情報発信の強化(各団体・クラブOB会へのFacebook参画勧誘等)。

＜活動・運営基本方針への対応＞

◇4月1日：寄付金受領各位への礼状メールとFacebook掲載。
◇4月18日：「大音氏　大阪電気通信大学高等学校校長就任　祝賀・激励会」
および「松嶋先生感謝の集い」開催
◇6月20日：「平成27年度　通常総会」を開催。
◇4～3月：定例・臨時「幹事会」を開催(計４回：４月18日、6月20日、11月１日、3月12日)。
◇4～3月：「ホームページ」「Facebook」メンテナンスのための協力学生とのミーティング・共同作業(計3回：4月18日、11月1日、3月16日)。
◇4～3月：学生各団体・クラブおよび関係団体からの要請に対する支援(自治会吹奏楽団の定期演奏会後援、高校同窓会総会出席、ワンゲル上高地キャンプ参加、友電会京都支部総会参加)。
◇4～3月：大学祭時に限定せず大学祭協賛事業同等の学生向けイベント開催と支援協力。(計５回：４月18日、6月20日、9月27日、11月１日、3月12日)。
◇4～3月：Facebookによる情報発信の強化。
◇4～3月：学園・学生主催行事等・関係団体等の敬弔時等への出席。
◇4～3月：各OB・OG会参画勧誘強化。
◇4～3月：クラブ同窓会役員および関係者への寄付金要請。
◇3月31日：役員の任期満了による次期役員就任要請。

第２号議案　平成27年度収支決算報告

＜平成27年４月１日～28年３月31日＞(単位:円)

	科　目	決　算	予　算	増　減	備　考
収入の部	寄付金	187,000	100,000	87,000	幹事・他による寄付
	前期繰越金	42,313	42,313	0	
	合　計	229,313	142,313	87,000	
支出の部	会議費	0	0	0	
	交通費	16,000	20,000	-4,000	協力学生ミーティング・各事業等
	事務通信費	0	20,000	-20,000	郵送・弔電等
	大学祭協賛事業費	0	20,000	-20,000	トークショー・大学祭・ホームカミングデー経費
	HP関係費	17,000	25,000	-8,000	協力学生アルバイト・サーバ賃借・通信費
	懇親会費	16,000	0	16,000	
	慶弔費	59,760	50,000	9,760	学生各団体・関係各団体祝い金等
	雑費	495	7,313	-6,818	雑費
	次期繰越金	120,058	0	120,058	
	合計	229,313	142,313	87,000	

第３号議案　平成27年度監査報告

大阪電気通信大学クラブ同窓会　平成27度監査報告書

大阪電気通信大学クラブ同窓会
会長　　岡 本 清 孝　　殿

大阪電気通信大学クラブ同窓会の平成27年度事業報告ならびに平成27年度収支決算報告を監査の結果、何れも会則に従い適正かつ真摯に執行されていることを認めます。

平成28年４月16日
大阪電気通信大学クラブ同窓会
監査役　　大 塚 敏 兼　㊞
監査役　　沖　　洋 一　㊞
監査役　　新 川 拓 也　㊞

第４号議案　平成28年度事業計画案

＜平成28年度　活動・運営基本方針＞

・学生支援事業の強化(大学祭、ホームカミングデーを含め、新規支援事業を検討)。
・組織フラット化および拡大(各団体・クラブOB会への参画勧誘等)。
・情報発信の強化(各団体・クラブOB会へのFacebook参画勧誘等)。

＜活動・運営基本方針への対応＞

◇4月1日：寄付金受領各位への礼状メールとFacebook掲載。
◇6月20日：「平成28年度　通常総会」を開催。
◇4～3月：大学祭時に限定せず大学祭協賛事業同等の学生向けイベント開催と支援協力。
◇4～3月：定例「幹事会」および「三役会」を開催(計年4～6回)。
◇4～3月：臨時「幹事会」および「三役会」を開催(必要に応じ)。
◇4～3月：各OB・OG会参画勧誘強化。
◇4～3月：Facebookによる情報発信の強化。
◇4～3月：Facebookメンテナンスのための協力学生とのミーティング・共同作業。
◇4～3月：学生各団体・クラブとのミーティングを開催(必要に応じ)。
◇4～3月：学生各団体・クラブおよび関係団体からの要請に対する支援(必要に応じ)。
◇4～3月：学園・学生主催行事等、関係団体等慶弔時等への出席等(必要に応じ)。
◇4～3月：クラブ同窓会役員および関係者への寄付金要請。

第５号議案　平成28年度収支予算案

＜平成28年4月1日～29年3月31日＞(単位:円)

	科　目	決　算	予　算	増　減	備　考
収入の部	寄付金	100,000	187,000	-87,000	幹事・他による寄付
	前期繰越金	120,058	42,313	77,745	
	合計	220,058	229,313	-9,255	
支出の部	会議費	0	0	0	
	交通費	50,000	16,000	34,000	協力学生ミーティング・各事業等
	事務通信費	20,000	0	20,000	郵送・弔電等
	大学祭協賛事業費	20,000	0	20,000	トークショー・大学祭・ホームカミングデー経費
	HP関係費	25,000	17,000	8,000	協力学生アルバイト・サーバ賃借・通信費
	懇親会費	20,000	16,000	4,000	
	慶弔費	80,000	59,760	20,240	学生各団体・関係各団体祝い金等
	雑費	5,058	495	4,563	総会開催経費等
	次期繰越金	0	120,058	-120,058	
	合計	220,058	229,313	-9,255	

第６号議案　平成28年度役員案

＜今期は会則第９条(役員の任期)により改選期＞　(各年次は入学年、年次順)

◆退任

・顧　問：高 岡 大 造(学生部部長)
・監査役：大 塚 敏 兼
　　(S36　ワンダーフォーゲル部)
・幹　事：池 田　清(S40　少林寺拳法部)
・幹　事：木 村 功 一
　　(S44　ギターマンドリンクラブ)

◆新任

・顧　問：伊與田　功(学生部部長)
・顧　問：四 元 博 文(学生部学生課)
・監査役：池 田　清(S40　少林寺拳法部)
・幹　事：幸 田 秀 雄(S42　柔道部)
・幹　事：長谷川慎二(H08　柔道部)
・幹　事：嶋 村 拓 都(H20　柔道部)
・幹　事：中 島 拓 哉(H20　柔道部)

◆幹事

・幹　事：中 野 正 三(S40　卓球部)
・幹　事：野 田 鐘 一(S41　日本拳法部)
・幹　事：平 岡　臨(S42　少林寺拳法部)
・幹　事：志 村 哲 樹(S42　剣道部)
・幹　事：大 音 博 司(S42　柔道部)
・幹　事：宿 谷 幸 男(S42　空手道部)
・幹　事：水 谷 元 也(S43　応援団)
・幹　事：森　和 明
　　(S44　電子計算組織研究会)
・幹　事：岡 本 清 孝(S44　柔道部)
・幹　事：船 越　亨(S47　柔道部)
・幹　事：内 野 正 道(S47　柔道部)
・幹　事：細 川 雅 巳(S48　少林寺拳法部)
・幹　事：岡 川 正 寛(S48　柔道部)
・幹　事：宮 條 研 次
　　(S50　ワンダーフォーゲル部)
・幹　事：元 花　修(S52　少林寺拳法部)
・幹　事：竹 田 治 英(S58　少林寺拳法部)
・幹　事：金 野 洋 明(H06　柔道部)
・幹　事：村 上 豊 裕(H16　柔道部)
・幹　事：竹 中 浩 之(H17　柔道部)

◆監査役

・監査役：沖　洋 一
　　(S50　電子計算組織研究会)
・監査役：新 川 拓 也
　　(H01　大学祭実行委員会)

◆学生幹事

・常任自治委員会委員長・副委員長
・体育会本部本部長・副本部長
・文化会本部本部長・副本部長
・大学祭実行委員会委員長・副委員長
・生協学生委員会委員長・副委員長

第７号議案　当日発議の議案

大阪電気通信大学高等学校同窓会会報
〒570-0039 大阪府守口市橋波西町1－5-18
大阪電気通信大学高等学校内　高校同窓会　電話06-6992-6261

ことしの総会・懇親会は、「ホテル京阪 京橋」で5月21日(土)に開催

懇親会には、母校の先生や恩師の先生をお招きしています。
旧友相集い、楽しいひと時をお過ごしいただけたらと思います。
同級・同期・クラブの仲間の皆さまを、お誘い合わせてご出席していただきますようお願いします。

1．開催日時　2016年5月21日(土)
　　総会16時受付開始　懇親会17時40分開始
2．開催場所　ホテル京阪 京橋　〒534-0024 大阪市都島区東野田町2-1-38
　電話06-6353-0321(代)
　HP http://www.hotelkeihan.co.jp/kyobashi/
3．スケジュール　受付開始　16:00～
　　総　　会　16:30～17:00
　　講 演 会　17:00～17:40
　　「電通高校から自衛隊へと歩んだ我が人生を振り返って」
　　講師　羽渕完俊氏
　　懇 親 会　17:40～19:30
4．参加費　お一人 ￥5,200-
　(ただし、2016年3月卒業生および70歳以上の会員は、￥3,000-です。)

【講演会を開催】

・講演タイトル・テーマ
　「電通高校から自衛隊へと歩んだ我が人生が人生を振り返って」
・講師　「羽渕完俊(E01)」氏
　昭和36年電通高校を首席(大阪府知事賞受賞)で卒業。高校では、生徒会副会長・会長を務める。電通大へ進学、大学では、中央執行委員長を務める。自衛隊へ入隊。33年間勤め、海将補(少将)で退官。退官後、日本航空電子工業(株)で8年間勤める。大阪電気通信大学友電会　元会長。

昨年5月16日(土)　総会・懇親会(大阪弥生会館で)

森強会長

[ご挨拶]

大阪電気通信大学高等学校同窓会会員の皆様、同窓会長職を務めさせていただいております「第19期卒業の森強」でございます。

同窓会会則により、毎年5月第3土曜日に総会・懇親会を開催することが決められております。今年度は、5月21日(土)、京阪電車京都線の京橋駅前「ホテル京阪 京橋」で開催いたします。母校の近況につきましては、本同窓会誌にも紹介させていただきましたが、順調に発展しております。少子化の進む中で、定員を超える生徒を確保し、入学生徒の学力レベルも少しづつ向上し、卒業後の進路についても、7割以上が、大学への進学を決めております。

同窓生の皆様におかれましても、厳しい社会環境の中、ますますご清栄のこととお慶びを申し上げます。5月21日開催の総会・懇親会では、講演会を企画いたしております。同窓生で、電通大卒業後、自衛隊へ入隊され、自衛隊で活躍された「羽渕さん」から、皆様へメッセージを届けます。

是非、多数の皆様のご参加をお待ちいたしております。また、同期での集まりや、クラブのOB会などの催しを兼ねて、総会・懇親会を活用していただければ、ご支援いたします。

いろいろな形でご参加していただくことも、大歓迎でございます。

皆様のご参加をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

2016年3月吉日　会長　森強

●2015年度総会・懇親会報告

昨年度の総会懇親会は、5月16日(土)大阪弥生会館で開催しました。

総会には、会員43名が出席されました。

総会では、新役員の選出、2014年度事業報告、会計報告、2015年度事業計画・予算案が提案通り承認されました。また、会則の改正提案については、一部改正提案を承認していただきましたが、第５条の条文について、不明確な文言があるとの指摘があり、次年度総会で改めて改正案を提案することになりました。

懇親会は、会員の出席者、母校恩師、法人本部、大学、緑樹会、友電会、クラブ同窓会などの友好団体からの出席を合わせ約60名の出席者で開催されました。今回は、母校の元校長で神主の資格を有されている「尋田先生」にお願いして、厄年の会員の厄払いの儀式を懇親会前に執り行いました。懇親会も、時間を延長するくらい盛り上がり、次年度の再会を祈念して散会しました。

●67会(昭和42年卒業生の会)新年同窓会の報告

本年１月23日(土)「67会第２回新年同窓会」を、大阪・あべの「新宿・ごちそうや」において開催しました。

今回は、恩師「小橋幸男」先生が初参加、「尋田保信」先生が、前回に続いての出席を賜りました。また、卒業生では、才野木務君(基礎科)、北田敬明君(基礎科)、岩村得司君(電子科)の３名が初参加されて、30名での楽しい新年会となりました。

お互いの健康と活躍に、ワイワイ、ガヤガヤ、先生方の若々しい姿と見た目が先生により歳上に見える友も、みんな歳いったなーとの感想を聞きながら、来年度の再会を約束して終了しました。

(67会 酒井 記)

§同窓会からのご案内§

□母校の生徒募集活動支援

同窓会の活動のひとつとして、母校の生徒募集活動に協力しています。

高校受験のお子様がおられると予想される年代の会員の皆さまに、母校の学校案内・生徒募集要項・入学願書などを母校から送付させていただいています。

□母校法人に「法人評議員」「法人理事」を選出しています

母校法人本部からの要請により、法人評議員4名を推薦しています。また、法人理事については、同窓会選出の法人評議員から1名を選出しています。

□クラス会・同期会の開催を支援します

同窓会会員が、クラス会や同期会などを開催され、参加者が10名を超える場合は、助成金を給付させていただきます。クラス会や同期会などを企画される場合は、同窓会の役員に問い合わせの上、この制度を活用してください。

□近況・メッセージの投稿をお願いします

会報は、年一回総会に関する案内を兼ねて発行しています。次年度の会報掲載に向けた「近況・メッセージ」の投稿をお願いします。また、HPにも掲載させていただきますので、同窓会事務局あてに送付をお願いします。

□同窓会のホームページを再開しています

同窓会のホームページは、長く休眠状態でしたが、一昨年、4月から、友電会(大学の同窓会)様のご好意により、友電会様のホームページ内に開設させていただいております。http://www.yudenkai.org/にアクセスしていただき、トップページ内の高校同窓会のボタンをクリックして確認してください。

2016年４月

□同窓会事務局

住所変更などの届、同窓会に対する問い合わせは、前ページの電話、住所等にお願いします。

最終講義をする橘学長

橘邦英学長 最終講義行う

●最終講義

母校の第10代学長・橘邦英先生の最終講義が2016年3月25日(金)午後5時から寝屋川キャンパスJ号館6階の小ホールで開催されました。テーマは「学長業務も研究のうち!?ーひとりの応用物理学者が学長として大学教育改革に挑んだ軌跡」と題して行われ、約100名が耳を傾けました。

講義は実験センター長・岸岡清先生の司会でスタート。橘学長の母校における功績などを紹介した後、学長の最終講義に移りました。

受付で最終講義の資料とクリッカーが手渡されました。

学長は「クリッカーを用いた双方向の講演にご協力ください」とあいさつ。「クリッカーの練習を兼ねてお尋ねします」と語り、「1、学生、2、教員、3、事務職員、4、OB/OG(同窓生、元教職員)、5、その他」で該当する項目の数字をクリッカー上のボタンを押すと登録されるようになっています。

その後も「本学歴代学長のうちの応用物理学者は?」といった質問が続き、「2012年度に学長就任時のマニフェスト」、「『実学』の定義と教育の実質化」と続き、「4ステップの実学教育」について説明しました。

母校の「OECU」の「O」はOpportunityで機会ー「ときめき」、「E」はExperienceで実験・実習ー「実践」、「C」はCapabilityでできる!ー「感動」、「U」はUtilityで役に立つー「発展」と、「ときめき」「実践」「感動」「発展」の4ステップで実学教育を表現しています。

この間、「右脳を活用した実学教育」、「教学におけるPDCAシステム」、「教育における基本三方針の整備」、「IRにおける修学状況分析」などについて説明があり、クリッカーを用いた参加型AL授業である「参加型学修の実演」に入りました。

質問1では、「スロープの上を転がせた時、どちらが速く転がり下りるでしょうか」で、①中身が空のコーヒー缶、②中身の入ったコーヒー缶、③どちらも同じーの中から「右脳(感覚)で答えてください」の注釈付き。

質問2も同じ内容の質問で、①凍っていないコーヒー缶、②凍ったコーヒー缶、③どちらも同じーの中から回答してください。質問は4つあり、正解を見てうなずいたり、首をひねる者など様々でした。

橘学長は「やり掛けたこと、やり残したこと」の中で、『教育体制の強化』で「共通教育体系の再構築」「初年次(導入)教育の充実」「障がいのある学生の修学支援」を挙げています。

また『同窓会との連携』では、「ホームカミングデーの開催ー発展的継続」「就職支援における連携体制の構築」としています。『後援会との連携』については、「親孝行デーの開催ー試行から本格化へ」と述べています。

最後に学長は、「『最終講義』にご参加いただき、ありがとうございました」とし、「5年間色々とお世話になりました。大阪電気通信大学の益々の発展を祈念しています」の言葉で締めくくりました。

●懇親会

午後6時20分から寝屋川キャンパスのZ号館3階の生協食堂で、橘学長の慰労と感謝を込めての「懇親会」が開催されました。

会場では橘学長を囲んで、学長時代の功績などについて話し合うなど、思い出話にふけっていました。参加した先生方からもあいさつの中で学長としての活躍ぶりについて評価する話が相次ぎました。

懇親会では、橘学長に2つのサプライズプレゼントがありました。1つは、橘学長の上半身を象ったオリジナルメダルです。もう1つは、橘学長の写真の入ったオリジナルワインです。

オリジナルメダルは、母校の3D造形先端加工センターの技術を結集して製作したとの説明がありました。製作工程は、学生が橘学長を3Dスキャンした後、光造形複合加工

橘学長の上半身を象った「オリジナルメダル」
橘学長の顔写真入り「オリジナルワイン」

「オリジナルメダル」が早野事務局次長から贈呈

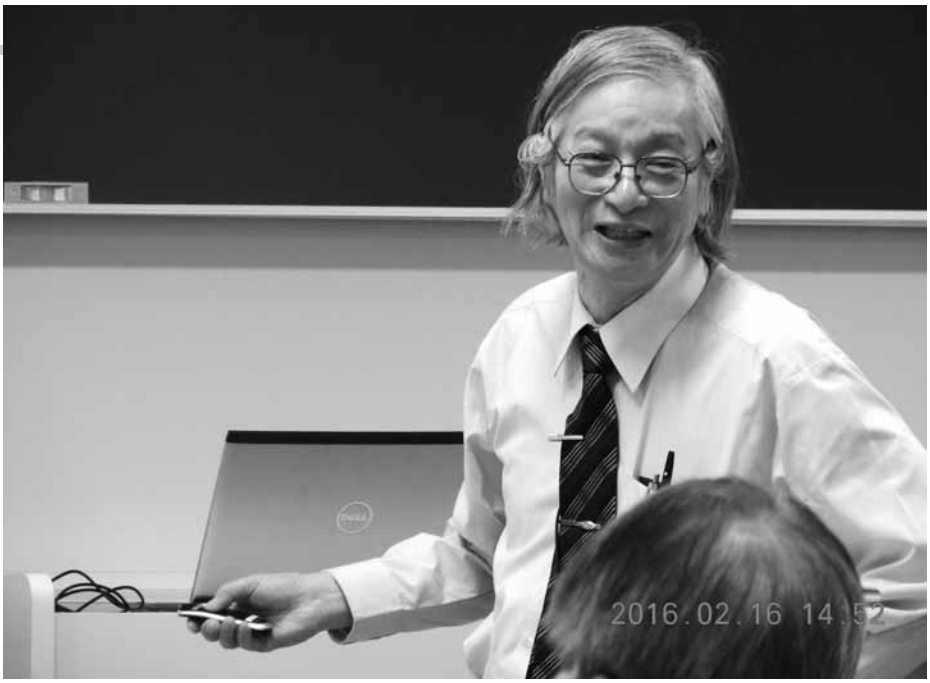
OBの藤本明(I06)氏から花束贈呈

機で造形、東大阪の会社に依頼して金メッキを施したとのことです。このメダルを製作するにあたり、裏面の文字の掘り込みと鉄系材料への金メッキの２つの技術に挑戦したとの製作秘話が語られました。

オリジナルワインは、大阪電気通信大学生活協同組合理事長の宇田先生より、橘学長に贈呈がありました。橘学長の退任記念として、特別にカタシモワイナリーで製作してもらったとの説明がありました。カタシモワイナリーは、大阪府柏原市にあり、西日本最古のワイナリーとして関西以外でも愛飲されているとのことです。

橘学長は、オリジナルメダル、そしてオリジナルワインを受け取り、満面の笑みを深めていました。

記念写真を撮影の後、参加者全員で橘学長を拍手で見送りました。



最終講義を行う生田教授

電気電子工学科・生田孝先生の「最終講義」行われる

今年度で定年退職される電気電子工学科の生田孝教授の「最終講義」が、2016年2月16日(火)午後1時から母校・寝屋川キャンパスＪ号館305号教室で行われました。学生や教職員など約100名が耳を傾けました。

最終講義は同科の渡辺俊彦教授の司会で始まりました。

「最終講義Ⅰ」は、「自身の研究と教育40年(＋7年)を振り返って」、「研究についての思い」のテーマで話されました。

「初めての研究」(大学４年次の卒業研究)は大阪大学工学部物理学教室第３講座で、テーマは「Auger電子分光による金属表面元素分析」。

その後、「修士課程での研究」と続き、「博士課程での研究」は「磁気バルブとType-Ⅱ磁区コントラスト」の研究を行ってきたことを話されました。

「『研究』についての思い」では、「自分の研究のスタンスとして、対象とする「電子顕微鏡」に、やや離れた分野の「信号検出」や「画像処理」の理論、技術を取り込むことに努めたつもりである」としている。しかし、自分では新規のアプローチと思っていても対象が異なるが類似の理論、技術が、他分野で同時期あるいは先行して研究されていることに、「後になって」気づくことが何度かあったと話された。

生田先生の最終講義を受講

「より広い分野を眺めることが重要」とし、この点でまだまだ不十分であったと反省していると述べた。

「最終講義Ⅱ」では、「生田孝(いくた たかし)プロフィール」、「終戦後以来の科学技術の発展・展開の流れと自分自身との関わり」、「思い出の数々」のテーマで、ジョークをまじえながら話され、会場が爆笑する一幕もありました。

90分にわたる最終講義は無事終わり、最後に女子職員からの花束贈呈で閉会となりました。

表彰式出席者の集合写真

■友電会がクラブに賞金

会長からの祝い金の贈呈
(㊤野球部　㊦柔道部)

挨拶する高岡学生部長

激励の言葉を述べる岡本副会長

友電会が体育会硬式野球部・柔道部を表彰
各クラブの学生諸君の士気高揚のため賞金贈る

友電会では、７月29日(水)午後５時から母校・寝屋川キャンパスＡ号館大会議室(115号室)で、この春に優秀な成績をおさめた体育会硬式野球部と体育会柔道部を表彰した。硬式野球部は「2015年阪神大学野球連盟２部春季リーグ東地区戦」で優勝、柔道部は「第56回全日本理工科学生柔道優勝大会」団体戦３位に入賞し、野球部に10万円、柔道部に15万円が友電会から贈呈された。

表彰式には、友電会から池本会長、岡本副会長、柴垣事務局長、学生部から高岡部長(工学部教授)・四元次長・荒瀬氏、柔道部から榎本顧問(工学部教授)・岡本監督・部員代表、硬式野球部から金田顧問(人間科学研究センター教授)・鈴木監督・部員代表が出席。

部員は硬式野球部が主将の原田拓也氏(健康スポーツ科学科３回生)、副主将の山地将馬氏(健康スポーツ科学科３回生)、柔道部から元主将の六車大河(むぐるまたいが)氏(環境科学科４回生)、蔦亮介(つたりょうすけ)氏(健康スポーツ科学科３回生)の４人。

表彰式は柴垣事務局長の司会で進められた。

池本会長は、「硬式野球部、柔道部ともに優秀な成績をおさめられ、母校のPRなど多大な貢献をされた。同窓会・友電会として表彰することになった。今後は、学生諸君の士気高揚のため定例化したい」とし、活発な活動を期待したいと挨拶。

続いて高岡学生部長が挨拶に立ち、「友電会が困ってしまうほどに頑張ってほしい。今後も学生諸君の学内外での優秀・模範的活動を期待したい」と語った。

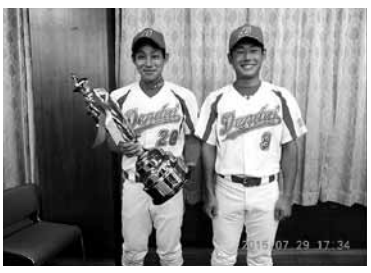
池本会長から、祝い金として野球部に10万円、柔道部に15万円が贈呈された。祝い金は全国規模の場合は15万円、関西など地区の場合は10万円が基本となっている。

次いで各クラブから「今後の活動への豊富」が発表された。野球部は「現在の部員数は約50名で、全員が結束し、秋季リーグ戦一部昇格を目指している」とし、柔道部も「柔道の神髄を極め、今後は各試合で優勝できるよう頑張りたい」と述べている。

硬式野球部は4月4日(土)から5月31日(日)まで大阪市港区の「舞洲ベースボールスタジアム」などの球場で試合を進め、2部東部地区リーグ戦では６チームが参加、10試合が展開され７勝2敗1分けで優勝した。東西戦では２チームが参加、１勝２敗だった。

柔道部は、6月28日(日)に東京都文京区の講道館で開催された「第56回全日本理工科学生柔道優勝大会」で団体戦3位に入賞した。30チームが参加し、初戦で東海大学と当たり負けたが、敗者復活戦で勝ち進んだ。

最後に岡本副会長は、「友電会では、各クラブの学生諸君の士気高揚のため、今回の表彰制度を定例化していきたい」とし、次回も表彰されるよう頑張ってほしいと、激励の言葉を述べ、閉会した。



優勝トロフィーを持つ野球部部員

賞状・表彰盾を持つ柔道部部員

OB中野正三(E05)氏が JR京都駅から母校へマラソン

～奈良経由で母校・四條畷・寝屋川キャンパスへ66㎞を完走～

出発時の中野氏

母校・大阪電気通信大学OB(電子工学科５期)、中野正三氏(CIJネクスト代表取締役会長)は昨年５月１日(金)、JR京都駅を午前８時半に出発、奈良市、奈良先端大学院大学などを経由して母校・四條畷キャンパス、そして寝屋川キャンパスまで66kmを見事完走しました。中野氏は、母校のPRを兼ねて一昨年から母校を中心としたマラソンを行っています。一昨年は５月３日、母校・寝屋川キャンパスを出発し、和歌山城まで約90kmを完走しています。

●午前８時半、JR京都駅を出発

午前8時過ぎ、中野氏は「大阪電通大　友電会　68歳　中野」「京都->奈良->電通大へ走」のゼッケンを胸にJR京都駅・新幹線中央改札口に姿を現しました。

JR京都駅前で歓送迎会の記念写真

改札口付近には池田清(Ｅ05)クラブ同窓会幹事など、中野氏と同期生を中心に６名ほどが出迎えました。歓送迎会を兼ねて、出席者全員で記念撮影し、中野氏の出発を見送りました。

●四條畷キャンパス着

中野氏は、竹田出橋、観月橋北詰、長池を経由して木津へ。奈良市北部、奈良先端大学院大学などを経て、午後５時ごろに母校・四條畷キャンパスに到着しました。同キャンパスではOBをはじめ母校の職員などが出迎えました。

途中の観月橋や奈良市北部、奈良先端大学院大学などの沿道では、OBらが声援を送りました。

●寝屋川キャンパス着

午後６時前に中野氏は寝屋川キャンパスの正門に到着しました。約20名のOBや教職員が「お疲れ様」の大きな声と大きな拍手で出迎えました。

寝屋川キャンパス正門で記念写真

レストラン「桜撫庵」での慰労会

記念撮影の後、場所を京阪・寝屋川市駅前のレストラン「桜撫庵」で10数名が参加し、中野氏を慰労しました。席上、池本善一・友電会会長は「大変お疲れ様でした」と完走を労い、「大阪電気通信大学、そして友電会の名称を記したゼッケンを胸に京都から寝屋川キャンパスまで66kmを完走され、母校はもとより友電会の大きなPRになりました」との言葉を送りました。

中野氏は「母校そして友電会の発展に少しでも貢献できたことは、大変うれしいことです。今後も機会をみて、頑張って行きたいです」と抱負を語り、出席者から大きな拍手が送られました。

{中野氏のマラソンコース}

・時間は、出発前に計画として提出したものです。
・ほぼ、予定通り走行しました。

●５月１日(金)

・08:30　JR京都駅－竹田出橋
　115号、24号線　3.2km(距離)　26分(時間)
　竹田道十条直進24号へ
・09:00　竹田出橋－観月橋北詰
　24号線　4.1km　33分
　深草加賀屋敷町を左折
・09:30　観月橋北詰－長池
　24号、69号、24号線　10.7km　86分
　スズキアリーナを右に見て京滋バイパス下を直進69号へ、城陽新池交差点を直進24号へ
・11:00　長池－木津
　24号線　13.1km　105分
・12:40　木津－奈良市北部付近
　24号、754号、396号　6.4km　51分
　大谷を過ぎ、木津奈良道754号に入る。
・13:40　奈良市北部付近－木津
　754号線　6.4km　51分
・14:30　木津－奈良先端大学院大学
　163号線　9.3km　74分
　木津交差点を左折し、直進し、西木津から直進163号へ
・15:50　奈良先端大学院大学－大阪電気通信大学四條畷学舎
　163号線　7.7km　73分
・17:00　大阪電気通信大学四條畷学舎－大阪電気通信大学寝屋川学舎
　163号、170号　5.1km　46分
　蔀屋交差点を右折
・17:50　ゴール　大阪電気通信大学寝屋川学舎着

★約66km　約560分(９時間20分)

中野氏が胸にしたゼッケン

友電会神戸支部の「平成27年度総会・懇談会」が４月19日（日）午後、神戸三宮の「東急REIホテル」で開催されました。

総会と懇談会は藤本明(I06)幹事の司会により進行されました。まず幸村常一(H16)支部長の開会挨拶に続いて、総会の議長に山崎洋一郎(H10)副支部長が就任。第1号議案(平成26年度実施事業報告、収支決算報告)、第2号議案(平成27年度事業計画、収支予算案)が原案どおり承認され、幸村会長から役員が紹介されました。

全員で記念撮影

神戸支部「平成27年度総会・懇談会」開催

総会に続く懇談会も藤本氏の司会で進められ、まず来賓の廣谷明副会長、橘邦英学長、池宮達雄大学事務局長が挨拶しました。

廣谷明友電会副会長は、「友電会は50年、大きな節目を迎えた。全国４万8,000人の同窓が参加してもらえるように、神戸支部を見習って支部の活性化に取り組んでいきたい。それが大学の活性化にも結びついていくのではと思う」と挨拶。

橘邦英学長は、「アイデンティティーは大学の名前そのものだと思っている。新しい時代のICTをベースに人間力を培う大学、これをアイデンティティーとして確立して、３年後から始まる18年問題を乗り越えたい」と語りました。

恒例の講演会は、１期生で支部相談役・友電会顧問の臼井宏氏が「発明よもやま話」をテーマに、発明にかけた人生を語りました。

臼井氏はシーケーディ（株）に勤務したあと、1986年に大阪・日本橋で大阪電子クラブを創業する一方、関西発明研究会会長としても活動しています。

講演では、成功例として280台売れ、プロの歌手、神野美伽と島津亜矢の誕生にもつながった「発声練習器」や「半田付け不要廉価ラジオ」

司会の藤本氏

を紹介するとともに、全然売れなかった「ドクターコール」や「悶える貯金箱」などの失敗談も、ユーモアたっぷりに紹介しました。

このあと、南茂夫元学長の乾杯で懇親会に移り、福田隆夫元理事長らが挨拶しました。

福田隆夫元理事長は「理事長をしてから30年たった。非常に発展して喜んでいる。私学は同窓会の力が大きい。これからも支えていただき

総会の様子

発明事例を紹介する臼井氏

たい」と述べました。

続いて水本雅晴名誉教授は、「平成８年の第１回の総会で講演し、以来声をかけていただいている。ファジィが提唱されたのは1965年。役に立たない代名詞の時代が長かった。85年ごろからブームになって、ファジィ制御を取り込んだ人間らしい機械が増えた」と挨拶。

志村哲樹組織部会長は「北は千葉県から南は九州まで各支部の活動に参加。法人化の実現に向けて、ご協力よろしく」と述べました。

山口文男関東総支部長は、「北関東支部では、エレクトロニクスには文系の知識も必要じゃないかとの趣旨で活動している」と述べ、澤居比佐夫びわこ支部長は、「一番若い支部長ですが、皆さんのサポートをお願いしたい。南先生の挨拶にあった『どこにあっても絵をかける人に』と、お互いに切磋琢磨したい」と語りました。

幸村支部長の挨拶

歌手のLI ZA BO さん

橘邦英学長

福田隆夫元理事長

水本雅晴名誉教授

廣谷明友電会副会長

議長の山崎氏

山口文男関東総支部長

志村哲樹組織部会長

澤居比佐夫びわこ支部長

友電会「平成28年度北関東支部総会・懇親会」案内

・日　　時　平成28年６月４日(土)午後０時30分～
東武東上線、川越駅東口　改札口に集合ください。

その後茶陶苑の見学(江戸時代末期の建屋です)を行い、終了後総会会場に向かいます。(見学に参加されない方は直接総会会場にお越しください。なお、総会は午後３時開催予定です)

・見 学 先　茶陶苑　元々お茶屋さんで、特に１階部分は明治・大正期輸出用茶葉の乾燥場を復元したもので、民藝道具のギャラリースペースとなっています、又入口は煉瓦造りのアーチとなっています。

・会　　場　川越温泉　湯遊ランド「ホテル三光」
℡049-226-2641
埼京線、東上線、川越駅東口下車徒歩約15分。
西武本川越駅、東上線川越市駅、徒歩約15分。

・会　　費　￥6000-(入浴料、宴会費含む)
ご同伴家族の方は無料、大歓迎です。

・参加の連絡　同封のファックス連絡用紙で友電会事務局へ返信をお願いします。
(メールでの連絡でもかまいません、学科記号と卒業期は必ず記入ください)。

・駐 車 場　近くの時間駐車場を紹介されます。出来るだけ電車でお越しください。

・出欠の連絡　料理数の予約が必要です。欠席の方もファックス、メールをお願いします。

初参加大歓迎です。会場には、「友電会　北関東支部総会」との名称を付け、判る様に表示しておきます。是非、都合をつけて、お越しください。

平成28年度友電会各支部総会開催日程

関東総支部	28年10月30日(日)	東京都「東京ガーデンパレス」
北関東支部	28年６月４日(土)	埼玉県川越市 「ホテル三光　遊ランド」
神奈川支部	28年６月25日(土) 予定	見学先: 海上自衛隊厚木航空基地
千葉支部	29年２月頃予定	千葉県船橋市「ゆとろぎの湯」
茨城支部	28年10月頃予定	未定
東海総支部	28年度は無し 平成29年度は29年 ６月３日(土)予定	「名鉄ニューグランドホテル」
静岡支部	－	
大阪支部	28年６月以降で 計画・未定	
三田支部	28年５月22日(日) 予定	兵庫県三田市 「しい苴園　有馬富士」
神戸支部	28年４月23日(土) ～24日	神戸支部発足20周年記念総会 兵庫県南あわじ市 「淡路島海上ホテル」
石川支部	－	
びわこ支部	28年11月頃予定	滋賀県大津市「大津館」
奈良支部	28年秋頃予定	未定
京都支部	28年11月12日(土) 予定	未定
九州支部	28年11月19日(土) 予定	総会場所未定 研修会:KDDI 山口衛星通信所 (パラボラ館見学)

東海総支部総会・懇親会参加者の集合写真

勢ぞろいした歴代支部長

東海総支部「平成27年度総会・懇親会」開催報告

友電会東海総支部は「平成27年度総会・懇親会」を平成27年５月16日（土）、午後１時からJR名古屋駅西側に位置する「名鉄ニューグランドホテル」で開催しました。

母校から成瀬理事長をはじめ寺西法人事務局長他２名、池宮大学事務局長他１名、友電会から池本会長をはじめ柴垣事務局長、さらに関東総支部、びわこ支部、京都支部、奈良支部から13名、東海総支部会員から13名の総勢34名が出席し盛大に開催することが出来ました。

総会は榊原秀之(F13)氏の司会で始まり志村哲樹(F07)支部長の挨拶の後、鈴木直彦(F04)氏の議長選出で1号議案から3号議案の平成26年度事業報告・会計報告及び平成27年度事業計画・予算案及び４号議案の平成27年度東海総支部役員案が審議され、満場一致で可決されました。

総会終了後記念講演会が開催され、就職部次長の不破信勝氏から「母校の就職状況と今後の取り組み(OBとの絆)」をテーマにご講演頂きました。

挨拶する
志村哲樹支部長

議長の
鈴木直彦氏

司会の
榊原秀之氏

最後を締める前支部長
野村康明氏

OBは自分が活躍する事で母校の評判を上げ、母校は学生が頑張って名声を上げる事で相乗効果で母校が益々発展する。これが「OBとの絆」で有る。また、大学及び就職部では目上の方から若い者への声掛け活動をして世の中に通用する人間性を育成する取り組みで進路決定率が大幅に向上した。今年から教職員全員参加でミッション・ビジョン・バリュー(MV２)策定プロジェクトをたて、将来の更なる発展が期待出来る力強い講演内容でした。

講演の最後には寝屋川駅前学舎、周辺の道路整備状況や寝屋川学舎の改築等発展した最新の状況を写真で紹介して頂きました。

不破就職部次長のご講演の後は演奏会で楽しいひと時を過ごしました。

京都支部の下野哲生(H09)氏による素晴らしい演奏とハーモニーに出席者全員が聞き入りました。また、成瀬理事長から「プロの演奏会会場に来たと思ったが、よく見たら東海総支部の旗が有ったので間違いなく総会の席だった」と言われた程大好評でした。

演奏会の後、会場を移ってお待ちかねの懇親会が始まりました。

臼井友電会顧問の乾杯の音頭に合わせて全員で乾杯の唱和

記念講演を熱心に聞き入る参加者

講演される母校の不破信勝就職部次長

志村哲樹(F07)支部長の挨拶の後、来賓代表として大学から成瀬理事長、友電会からは池本(E02)会長からご挨拶を頂きました。

乾杯に入る前に、今回の総会は東海総支部の歴代の支部長が揃っての出席となりましたので、サプライズで志村支部長から紹介が有りました。

初代：臼井宏(E01)氏、２代目：岡本忠治(F05)氏、３代目：野田哲治(F03)氏、４代目：故馬庭国男(F04)氏、５代目：野村康明(F01)氏、６代目が現支部長の志村哲樹(F07)氏です。

３代目支部長の野田哲治(F03)氏から東海総支部が今このように活動出来ているのは、当時友電会事務局に居られた吉田祐三(F06)氏に大変ご協力頂いたとの説明が有り、記念品の贈呈を行いました。

その後、友電会顧問、東海総支部の顧問でもある初代支部長の臼井宏(E01)氏の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。

暫く歓談の後、来賓の法人事務局長寺西正光氏のご挨拶と財務部長田中孝憲氏、総務部部長事務取扱渡邉堅一氏のご紹介、大学事務局長の池宮達雄氏、友電会事務局長柴垣佳明氏からご挨拶を頂きました。

そして、友電会本部や他の支部から出席して頂いた方々からスピーチを頂き、会は大変盛り上がりました。楽しい会は時間が経つのが早いもので全員で大学歌を合唱する時間となりました。

全員で大学歌合唱

３人による演奏の素晴らしいハーモニー
大学歌を生バンドで演奏

挨拶される
成瀬淳理事長

挨拶される
池宮達雄大学事務局長

挨拶される
池本善一友電会会長

友電会顧問の
猿渡洋氏

挨拶をされる
寺西正光法人事務局長

挨拶をされる
野田哲治氏

東海総支部顧問の
岡本忠治氏

大学歌のテープを準備していましたが、今回演奏会をお願いした方々から生バンドでとの提案が有りました。大学歌の前にまたまたサプライズで、「この木何の木」（日立グループのCMソング）の歌が披露され、会は益々盛り上がり成瀬理事長が演奏者に駆け寄る場面が有りました。

最後に５代目支部長の野村康明(F01)氏の一本締めの後、全員で記念撮影をし、次回の再会を約して閉会しました。

平成27年度東海総支部研修会を平成27年10月24日(土)に行いました。今回は愛知県の三河で江戸時代の基を築いた徳川家康没四百年となる事から、岡崎城の見学と全国的に有名な八丁味噌の工場を見学しました。参加者は野村康明(F01)氏、伊藤慎吾(E01)氏、桑原孝雄(F05)氏、志村哲樹(F07)氏、松野秀樹(I10)氏、宮條研次(F15)氏、山下友彦(J15)氏の7名です。

岡崎城天守閣の前にて(左から野村氏、松野氏、桑原氏、志村氏、伊藤氏、宮條氏、山下氏)

平成27年度「東海総支部研修会」実施報告

徳川家康没四百年・岡崎城と「八丁味噌」を見学

当日は名古屋鉄道の東岡崎駅に13時に集合し、天候にも恵まれ岡崎城へ向かいました。徳川家康は天文11年(1542年)12月26日に岡崎城内で誕生し、永禄3年(1560年)桶狭間の合戦で今川義元が戦死したことを契機に自立し、岡崎城を拠点に天下統一という偉業への基礎を築いた。

そして、慶長5年(1600年)関ヶ原の戦いで石田三成を破り征夷大将軍となって江戸幕府を開いた後、駿府に引退する形をとりながら実権を握り、2回にわたる大坂の陣で豊臣秀吉を滅ぼし、元和2年(1616年)75才で生涯を閉じた。

徳川家康の時代にタイムスリップした後、岡崎城から西へ八丁(約870m)の距離にあることに由来する八丁味噌工場を見学しました。見学した「まるや八丁味噌」は延元2年(1337年)創業の旧東海道に面した老舗で、戦国時代には徳川家康の兵食となり珍重されたそうです。この地は矢作川の船運と旧東海道が交わる交通の要所で、江戸時代には土場(船着場)・塩座(塩の専売)があり、矢作川の良質な伏流水にも恵まれ、船運を利用して原料の大豆や塩を調達し味噌の出荷が出来ました。

見学の後、東岡崎駅前の居酒屋で反省会兼懇親会を行い、「平成27年度東海総支部研修会」を終了しました。

三河武士のやかた家康館へ移動

三河武士のやかた家康館

グレート家康公「葵」武将隊のアトラクション

まるや八丁味噌工場へ到着

一つ一つ重石を積み上げられた木桶

八丁味噌の田楽を試食

「平成27年度 茨城支部総会・懇親会」報告

牛久市の「シャトーカミヤ」で22名参加

茨城支部では「平成27年度支部総会・懇親会」を、平成27年10月17日(土)12時より牛久市の「シャトーカミヤ」にて開催しました。

今年は、前回の総会が台風接近で直前に中止となったことから、天候を気にしながらの計画ではありましたが、前夜よりの雨も明け方に上がり、昼ごろには晴れ間も見える10月中旬の秋らしい天候となりました。

そのような中、母校より池宮大学事務局長及び池本友電会会長、志村友電会組織部会長の参加を頂き、JR高崎線の運転見合わせ事故で会場に来ることができない会友や事前に集合場所に来ていながら、当日都合が悪くなり出席できなくなった会友がある中、関東地域や関西方面からの参加者を含め、総勢22名の参加があり、大変有意義な一日となりました。

シャトーカミヤ内レストラン前での別れを惜しんで！

遠方からJR常磐線牛久駅に集合する会友と地元近くで直接会場に集合する会友を含め、会場「シャトーカミヤ」にて、初めて参加の会友や久しぶりに会う会友との出会いの交歓をしました。

雨上りの庭園や、残念ながら東日本大震災の復興工事の為、一部見学できない施設がありましたが、歴史的価値の高いものとして国の重要文化財に指定されたワイン醸造施設の一端を垣間見ることができました。また、東京・浅草ロマンの「電気ブラン」の名の由来にも接するなど、総会や懇親会前のひと時を過ごしました。

「シャトーカミヤ」（同社HPより）

定刻に茨城支部総会を木村支部長のもと開催しました。

1、平成26年度事業報告及び決算
2、平成27年度事業計画及び予算
3、支部役員の選任

上記議案を報告、審議しました。付帯事項として、茨城支部会員人数の把握と支部総会参加人数の拡大を図り、支部活動の活性化と継続が大事であることを含め全会一致で承認されました。

その後、懇親会に移り、猿渡友電会顧問の音頭で乾杯の後、母校よりご参加頂きました池宮大学法人事務局長を始め、友電会池本会長、志村組織部会長の方々にご挨拶を頂きました。

特に、池宮事務局長より、現在の母校・大阪電気通信大学発展の為の取り組みについてご説明を頂きました。大学キャンパスや学部学科の拡充等発展する大学の姿を熱弁頂き、11月１日の大学祭でのテクノフェアやホームカミングデーのご案内を頂きました。

挨拶する木村支部長

参加者全員が自己紹介を兼ねて「一言」があり、近況報告や学生時代の思い出話など、少子化課題を抱えた大学の経営の在り方(？)など熱のこもったお話もあり、ちょっとした議論もあり大変盛り上がり、拍手喝采が続きました。

途中、仕事の都合で１人が中座しましたが、集合写真を撮り、盛会裏のうちに、次回の再会を約束してお開きとなりました。

北関東支部総会参加者の集合写真

平成27年度「北関東支部総会」報告

24名が参加し川越市で

今年度の北関東支部総会を、平成27年６月６日(土)に例年通り川越市にて開催しました。今年は前夜よりの雨も明け方に上がり、昼前には晴れ渡り６月初旬らしい天候となりましたが、風は意外とさわやかでした。そのような中、母校より池宮大学事務局長及び友電会本部廣谷副会長、志村組織部会長の参加を頂き、且つ総勢24名もの参加があり、大変有意義な一日となりました。

最初に恒例の見学会として、今年度は大沢家住宅及び服部民俗資料館の２か所を見学しました。大沢家住宅は、寛政４年(1792年)に建てられ川越大火にも焼け残った最古の蔵つくり住宅で、国の重要文化財に指定されています。

次に、２か所目として服部民俗資料館を見学しました。服部民俗資料館は、元々履物商と薬種商を営んでいた商家で、代々受け継がれてきた民具や文書等が展示、公開されていました。見学会終了後、総会会場に移動し当日好天の為参加者全員汗を流しました。

定刻に北関東支部総会を開催しました。平成26年度活動報告及び決算案、平成27年度活動予定及び予算案を審議の上議案を全会一致で承認しました。

その後、母校よりご参加頂きました池宮大学事務局長を始め、友電会廣谷副会長、志村組織部会長、川口友電会理事、畝本法人評議員会常任議長の方々にご挨拶を頂きました。特に、池宮事務局長より、現在の母校大阪電気通信大学発展の為の取り組みについてご説明、ご挨拶を頂きました。

この後懇親会へとうつり、懇親会では猿渡友電会顧問の音頭で乾杯した後、各自の近況報告が有り大変盛り上がりました。その後、来年の再会を約束して散会となりました。

平成27年度「神奈川支部総会・懇親会」

「平成27年度　友電会神奈川支部総会・懇親会」は、平成27年６月13日(土)午後０時40分から神奈川県横須賀市で県内在住を中心に関東一円から会員15名が参加して開催されました。

●横須賀軍港めぐり
（クルーズ船乗船45分）

午後１時からクルーズ船に乗船して横須賀軍港をめぐりました。この日、たまたま1日前から寄港していたヘリコプター搭載護衛艦「いずも」を見ることができました。同護衛艦に記念乗船できれば良かったのですが、残念ながら時間がありませんでした。

「いずも」は、現在、海上自衛隊が保有する艦船の中では最大の艦型で、第二次世界大戦当時、旧日本海軍が運用した正規空母「飛龍」を上回る大きさとのことです。

他に潜水艦、８角形のアンテナを装備したイージス艦、木造船、FRP船等、海上自衛隊の艦船を見学できました。

神奈川支部総会集合写真(横須賀三笠公園にて。15名が参加)

記念艦「三笠」上甲板にて。
後方は30㎝前部主砲

ヘリコプター搭載護衛艦「いずも」。
2015.3.25就役。乗員470名、
14機のヘリコプターを搭載、建造費1,139億円

●「どぶ板通り」を三笠公園まで徒歩で移動

この後、午後１時45分から、横須賀では名の知られた「どぶ板通り」を45分にわたって見学しながら散策。移動しました。

●「記念艦三笠」見学

午後２時50分から三笠公園に展示されている「記念艦三笠」を見学しました。「三笠」は、1902年（明治35年）にイギリスで建造された戦艦です。1904年（明治37年）からの日露戦争では、東郷平八郎司令長官や秋山真之作戦参謀らが乗艦する連合艦隊の旗艦として大活躍しました。

ここでは、「三笠」の紹介ビデオ（25分）を鑑賞、「三笠館内」を40分間にわたって見学しました。

●総会と懇親会を開催

京浜急行「横須賀中央駅」まで徒歩で移動し、午後４時25分から「酒造お太幸中央店」で「神奈川支部総会」を開催。議案を審議の上、全て承認されました。

その後、懇親会を開き、お酒を片手に学生時代の思い出話や近況などを語り合うなど、大変盛り上がりました。午後６時15分に、来年度の再会を約し散会しました。

今回の「神奈川支部総会・懇親会」は、おおむね好評であったと思います。また、平成27年12月には「役員会」を開催する予定です。

千葉支部総会出席者の集合写真

平成27年度「千葉支部総会」報告

平成27年度最後の行事、千葉支部総会（支部長 佐藤渉一）が、平成28年２月14日（日）に千葉県船橋市の「ゆとろぎの湯」にて開催されました。当日は春一番の強風と季節はずれの暖かさという予報で、一部交通機関には遅れも出ることが予想されましたが、無事予定通りに開催できました。

出席者が総会前に入浴し、心と体を温めている間に風も穏やかになっておりました。今回の出席者は８名。

本部より昨年同様、志村組織部会長が参加され、母校より池宮事務局長に出席頂きました。会員は１期の大塚氏、青木氏をはじめ、千葉市在住の坂本さんが初参加です。

支部総会は昨年の活動実績報告を行い、続いて本年度の関東総支部総会についてお知らせを行いました。

宴に入ってからは例年通り、各自順番に自己紹介とプライベートの近況報告を行い、大いに盛り上がりました。友電会の出席者をいかにして増やすか、最新の名簿に整備が必要などの議論が多く出ました。

池宮事務局長からは、今年４月入学者はトータルとして定員を上回ったこと、４月より新学長が就任する旨のお話等もあり、全員真剣に耳を傾けました。併せて今年10月予定の「AO入試」日程もお聞きし、関東総支部総会の日程を再考することと致しました。

その後、再会を約束してお開きとなりました。

●次年度の予定

次年度以降は自衛隊「厚木基地」、「JAXA相模原キャンパス」（宇宙科学研究所）の見学等を予定しています。県内はもとより近都県に在住・勤務されている会員の方は、ぜひ参加下さい。

前日まで「雨模様」との予報が一転、関係各位のお蔭で五月晴れとなった平成27年５月24日(日)午後１時30分から、友電会三田支部では三田市のしい茸園有馬富士「山荘かえで」で平成27年度総会を開催しました。会友とその家族など27名が参加、しい茸狩りなどを楽しみ、焼き肉料理に舌つづみを打ちました。

子供含む家族とともに参加者全員による支部総会参加記念写真

「平成27年度友電会三田支部総会・懇親会」報告

第16回　晴天に恵まれ総会・講習会・懇親会へ27名が参加

■平成27年度総会

総会は神楽岡功(F02)副支部長の司会のもとで定刻にはじまり、小西巖(E02)支部長が挨拶の中で、出席者への御礼と総会後のユニークな講習会の紹介がありました。

議長に薬井安二(I06)氏を選出し、平成26年度活動報告・収支決算報告・会計監査報告、平成27年度事業計画・予算案・役員案が審議され、出席者全員の拍手で承認され総会は終了しました。

■講習会

講習会は、小西支部長による「微生物・カビの働きによる～生ごみが消えるマジックボックス"段ボールコンポスト"」を行いました。もちろん三田市クリーンセンターの講習内容を三田市の了承を得て行いました。

５月3日は「ゴミの日」、5月30日は「ゴミゼロの日」でごみ拾い、ごみ減らし等の活動が行われているようです。

今回は、段ボールを利用して家庭から出る生ごみをたい肥または不要(消す事)にしてしまう「コンポスト」を作成し、生ごみの減量化(資源化)を体験して頂き、段ボールコンポストの良さを感じてもらえるように解説しました。

■懇親会

恒例となったバスケット一杯、原木からのしい茸狩りを楽しみました。

引き続き神楽岡副支部長の司会で懇親会へと移りました。

挨拶をする池宮達雄
大学事務局長

廣谷明
友電会副会長の挨拶

最初は友電会の廣谷明(F12)副会長から挨拶がありました。廣谷氏は「三田支部は、バラエティーに富んだ企画・活動をされているのを見聞かせて頂き、同窓会の活動の基本であるコミュニケーションを高めるという事で、和気あいあいとしている事が伝わってきました。現在13支部がありそれぞれが、それぞれのローカル色を生かしながら大阪電気通信大学を卒業した方の集いを楽しみ、そしてひ

家族全員でしい茸狩りを楽しむ総会参加者

段ボールコンポストを作成する総会参加者

支部総会で議長を
務める薬井安二氏

神楽岡功副支部長の司
会で支部総会が進行

挨拶をする
小西巖支部長

講習内容を説明する
小西支部長

いては大学の活性化へとつなげていければと思っています」と語った。

次いで大学から来賓の池宮達雄事務局長は「大学では、手と頭と心の実学教育を行っております。おかげ様で1,200名の募集で1,274名の学生を迎える事ができました」と述べ、大学の近況報告がありました。また、「大学のホームカミングデーは本年11月1日に"テクノフェアー"とともに開催します。当日は小中学生の資格教育という事でスーパーボール・アクセル等揃え毎年3,000人の親子づれが集います。本学の現状を知るいい機会ですのでぜひお越しください」とPRしました。

友電会の志村哲樹(F07)組織部会長の音頭で乾杯となりました。

先程のしい茸を加えた炭焼きバーベキューで三田牛に舌つづみを打ちながらの歓談となりました。ビンゴゲームは、今年も景品に三田米・母子茶・郷土野菜に加えお菓子類と、ブービーメーカーにフランスパン等々の賞品を揃え好評でした。

中締めに友電会の辻佳彦(H13)副会長からの挨拶があり、充分楽しんだ後、しい茸ごはんを手土産にして懇親会を終了した後、集合写真を幸村常一神戸支部長に撮ってもらってお開きとなりました。

九州支部が総会を福岡・太宰府で開催

九州支部では平成27年９月27日(日)、九州・福岡県の歴史の一端を再認識するため、菅原道真公ゆかりの地、太宰府天満宮で参拝・研修を行い、引き続き、ホテル「ルートイングランティア太宰府」にて16名が参加し総会・懇親会を開催しました。

今回の研修では、晴れやかな青空に恵まれ、太宰府天満宮の1,100年以上の時間の中で守り伝えられてきた歴史的な建造物などの景観を楽しみながら歴史を感じつつ、御本殿での参拝を行い、これからの大学および友電会の益々の発展を祈願しました。

ご祈願では、参拝記念を拝受いたしました。

総会では、支部の立ち上げから尽力してこられた福田支部長から小松新支部長へとバトンタッチが行われ、九州支部も新たな体制となりました。

懇親会では、会員の家族も参加して、大学の現状や今後にかける思いなど、いろいろな話題で和やかな雰囲気のなか、皆さまの懇親を深める大変貴重な時間となりました。

出席者全員で大学歌斉唱

乾杯の音頭をとる南茂夫元学長

京都支部が「平成27年度総会」を開催

初の学生参加「頑張る学生たちと触れ合い」

友電会・京都支部(段安義彦(F06)支部長)は、平成27年11月14日(土)に京都市下京区の「からすま京都ホテル」で「平成27年度支部総会」を開催しました。新しい試みとして「母校の頑張る学生たちと触れ合い、応援する！」というテーマで、学生たちの活動、研究の成果発表、OBとの意見交換会等を行いました。学生７名を含め京都府に在住・在勤の会員など37名が参加、有意義で楽しい総会となりました。

会合は同日午前11時から奥田裕(H20)事務局長の司会で開会。段安支部長があいさつに立ち、参加者へお礼を述べるとともに「今回は、学生が参加するという初めての試みを展開します」と語りました。

続いて、友電会会長の池本善一(E02)氏は「学生が、どのような形で参加するのか楽しみにしています」と語り、母校の橘邦英学長は支部総会開催の祝辞を述べるとともに、母校の現状を報告し、母校発展への協力を要請しました。

総会は議長に藤原公彦(E04)氏が選出されて開会。「平成26年度支部活動」を兵藤敏夫(E06)副支部長が、「平成26年度支部会計」を段安支部長がそれぞれ報告し、北川昇(H06)監査役が「監査した結果、適正に執行されていることを認めます」と報告。続いて「平成27年度支部活動予算」について段安支部長が報告して、満場一致で承認されました。

この後、スライドを使用して母校の近況「母校はいま、びっくりするような施設・設備」と題して報告しました。奥田事務局長が司会として進め、橘学長や母校の池宮達雄事務局長、参加した学生たちが説明・報告をしました。この中には全国の大学で４台しかない最新機器が母校にあるなどが含まれています。

引き続き、「第56回全日本理工科学生柔道優勝大会」で団体戦第３位に入賞した体育会柔道部の蔦、六車、丸山の３君が出席し、大会の報告と今後の抱負を述べました。大会は６月28日(日)に東京都文京区の講道館で開催されたもので、30チームが参加し、初戦で東海大学と当たり負けたが、敗者復活戦で勝ち進みました。学生は「柔道の神髄を極め、今後は各試合で優勝できるよう頑張りたい」と述べていました。

なお、友電会では、7月29日(水)午後５時から母校・寝屋川キャンパスＡ号館大会議室(115号室)で、この春に優秀な成績をおさめた体育会柔道部と体育会硬式野球部を表彰しました。柔道部に15万円、野球部に10万円を友電会から贈呈しました。

パーティーの光景

「ザ・ブルーサンダーボーイズ」の演奏

挨拶する
橘邦英・母校学長

司会の
奥田裕・京都支部事務局長

挨拶する
段安義彦・京都支部長

挨拶する
池本善一・友電会会長

北川昇・京都支部監事

工学部環境科学科の学生による「ベリーベリープロジェクト」研究発表には学生の野呂、八上、西村、米田の４君、指導の齊藤安貴子環境科学科准教授が参加しました。

京都支部では、今回から「母校の頑張る学生たちと触れ合い、応援する！」というテーマで、学生たちの活動、研究の成果発表、OBとの意見交換会等を行い、学生たちには活動発表の機会を、OBには学生たちのバックアップの機会を設け、現役学生と卒業生の良き関係を築いていきたいとしています。第一弾とし「ベリーベリープロジェクト」の学生に来て頂き、プロジェクトの紹介をして頂きました。

「ベリーベリープロジェクト」とは、健康によいとされる「ポリフェノール」を多く含むベリー系植物を、学生自らの手で育て、商品開発を行う学生主体のプロジェクト。商品開発のキーワードは「機能性の高さ」。人間の健康維持の効果、病気予防効果などに着目し、「ポリフェノール」の含有量の数値化、機能性の検証を重ね、健康効果が化学的・生物学的に証明された、母校独自の商品開発を行っています。

学生の４君はスライドを使って「ベリーベリープロジェクト」について説明・報告しました。同プロジェクトは昨年３月26日に発足したもので、「本日のレシピ」として「ラズベリーシロップ」（炭酸水入り）が振るまわれました。また、「ラズベリークッキー」を販売、大半の出席者が購入しました。

齊藤准教授は「今回、参加している学生がいなければ、このプロジェクトはできませんでした」と語り、頑張ってくれる学生たちがいる限りは「踏み台として“裏ボス”を続けて参ります」と話していました。

いよいよ懇親パーティー。南茂夫元学長の乾杯の音頭で開宴。

会員３人組による「ザ・ブルーサンダーボーイズ」の演奏・歌を聴きながら、満足のいくパーティーとなりました。同グループは山口朝弘（F05）、吉岡睦（E06）、下野哲生（H09）の３氏で、「テネシーワルツ」や「高校３年生」なども飛び出し、楽しい一時を過ごしました。

総会にて　－左から－議長の藤原公彦氏、
段安支部長、兵藤敏夫副支部長

参加者全員による「自己紹介」があり、記念撮影のあと「大阪電気通信大学歌」を全員で斉唱して来年度の京都支部総会での再会を約して散会しました。

「ベリーベリープロジェクト」を指導している
環境科学科の齊藤安貴子准教授

優秀な成績をおさめた体育会柔道部の学生３君

「ベリーベリープロジェクト」の学生４君

友電会奈良支部(松井俊樹(I13)支部長)は平成27年11月28日(土)、29日(日)の1泊2日で奈良県吉野郡川上村のホテル「杉の湯」で「平成27年度支部総会・懇親会」を開催しました。奈良県在住の会員を中心に25名が出席、蜻蛉(せいれい)の滝や大滝ダム、丹生川上神社上社、森と水の源流館を見学、翌日は五條市に場所を移し、「民俗資料館」で天誅組について説明を聞くなど有意義な会合となりました。

ホテル「杉の湯」の懇親会会場で

「平成27年度奈良支部総会・懇親会」開かれる

25名が出席、奈良・川上村で1泊2日

「丹生川上神社上社」で

一昨年11月15日に天皇・皇后両陛下から弊饌料が

ガイドから「天誅組」について説明を聞く

五條市新町の「民俗資料館」前で

●近鉄橿原神宮駅前に集合

奈良支部総会は28日午後1時に近鉄橿原神宮駅に集合、ホテル「杉の湯」のバスで蜻蛉の滝へ。高さ50mの水量豊かな滝で、「雄略天皇を虻から救った蜻蛉(とんぼ)伝説」からこの名が付いたと言われています。

次に「大滝ダム・学べる防災ステーション」へ。人間の知恵がどのように水を治め、活用してきたかを「見て、聞いて、触って」学習できる施設。参加者はカッパを着て1時間に600㎜の大雨を体験していました。

この後、「森と水の源流館」を見学。迫力有るスクリーン映像と巨大なジオラマなどを通して、吉野川源流の「水源地の森」を体験しました。

最後に「丹生川上神社上社」へ。「この里は、丹生の川上ほど近し、祈らば晴れよ、五月雨の空」と後醍醐天皇が歌に詠んだ由緒ある神社。675年に天武天皇の神宣によって創建されたと伝えられ、歴代天皇の崇敬あつく、水の神を祀っています。一昨年11月15日に天皇・皇后両陛下から弊饌料が御下賜されています。また、今夕の総会の後の講演会で宮司の望月康麿氏が講師を務めて頂くことになっています。

●平成27年度奈良支部総会

午後4時にホテル「杉の湯」に到着。「金鱗の間」に集合し、吉岡睦(E06)幹事の司会で進められました。

席上、松井支部長は出席のお礼を述べるとともに、「今後も会員相互の親睦や研修を図っていきたい」と挨拶。

総会は、議長に藤田順彦氏を選任して開会。松井支部長が平成26年度活動報告、同年度収支決算報告、平成27年度活動計画、同年度予算案の全議案を説明報告しました。平成27年度活動計画では「会員相互の親睦と研修を図り、他の支部との交流を図ろう」を基本に進めていくことにしているとの説明がありました。

次いで堀内定夫(G05)支部監事が監査報告をし、全会一致で議案が承認されました。

●丹生川上神社上社宮司の講演会

講演会は「丹生川上神社上社」宮司の望月康麿氏が講師。

講演する「丹生川上神社上社」宮司の望月康麿氏

挨拶する松井奈良支部長

総会議長の藤田氏

監査報告をする堀内監事

懇親会司会の山崎副支部長

総会司会の吉岡支部幹事

乾杯の挨拶をする
志村友電会組織部会長

挨拶する母校の
池宮大学事務局長

挨拶する
廣谷友電会副会長

望月宮司は「上社の創建は675年に天武天皇の神宣によるものです」と神社の由来について述べるとともに、平安中期以降は朝廷の最高の社格となる「二十二社」の一つに数えられましたが、応仁の乱以降は衰微しました。明治以降は官弊大社として上社、中社、下社の３社が列せられたとのことです。

同じ歴史と由緒をもつ上社、中社、下社を巡る「丹生川上三社巡り」があり、最近は参拝者も多くなっているとのことです。上社では「昇気福運」、中社では「勝気開運」、下社では「運気招福」のそれぞれのお守りを拝受し、「三社巡り」を終えると結願御神符が受けられるそうです。

望月氏が宮司として着任したのは４年前。「川上村に来て良かったと思っています」と語り、空気がきれいで水も豊かなこの地が好きですとしています。

20年前ころに吉田松陰が25歳の時、野山語句の妹に宛てた手紙に出逢い、感銘を受けたとのこと。

「神ともうすものは正直なる事を好み、また清浄なる事を好み給ふ。夫れ故神を拝むには先づ己が心を正直にし、又己が體を清浄にして、外に何の心もなくただ謹み拝むべし。是れを誠の神信心と申すなり。その信心が積もりゆけば二六時中己が心が正直にて體が清浄になる是を徳ともうすなり」

最後に望月宮司は「美しい日本・日本人になることを願っています」と結びました。

●楽しかった懇親会

司会は山崎敏之(F14)支部幹事にバトンタッチし懇親会の開幕。

松井支部長は「おおいに親睦を深めてほしい」との挨拶に続いて、廣谷明(F12)友電会副会長が会長代理として友電会の現状報告を中心に挨拶、母校の池宮達雄大学事務局長が母校の報告と大学発展への協力を要請しました。

志村哲樹(F07)友電会組織部会長の乾杯の音頭で懇親会に移りました。

懇親会では、全員が自己紹介と近況報告などし、学生時代の思い出話も飛び出すなど、笑いがいっぱいの会となりました。

●29日は五條市へ移動

翌日の29日は午前８時30分に五條市へ向けて、奈良交通バスで出発。

約１時間で五條市新町の「民俗資料館」に到着。江戸末期ころは五條代官所の長屋門だった建物で、天誅組の足どりやゆかりの地などの資料が展示されています。ガイドの説明を聞いた後、資料館近辺の天誅組ゆかりの地を散策しました。

バスで橿原市のJAレストラン「まほろば」で昼食をとった後、近鉄大和八木駅で、来年度の再会を約し、午後1時30分ころ散会しました。

平成28年度 母校の入試案内

試験種別	学　部(学科)	出願期間		試験日	試　験　会　場	合否発表日	入学手続期限
AO入学試験	工　学　部 情報通信工学部 金融経済学部	郵送出願: 9月23日(金)～10月 5日(水) 消印有効		10月15日(土)	本　学(寝屋川キャンパス)	10月22日(土)	一括: 11月 1日(火)
	医療福祉工学部 総合情報学部				本　学(四條畷キャンパス)		
得意科目セレクト入学試験 専門学科・総合学科特別入学試験	工　学　部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部 金融経済学部	●インターネット出願: 9月30日(金)0:00～ 10月11日(火)20:00まで 出願書類送付期限: 10月11日(火) 消印有効	●郵送出願: 9月30日(金) ～10月11日(火) 消印有効	10月23日(日)	本　学(寝屋川キャンパス)	10月29日(土)	1次: 11月10日(木) 2次: 12月 1日(木)
公募推薦入学試験 A・B日程	工　学　部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部 金融経済学部	●インターネット出願: 10月20日(木)0:00～ 10月31日(月)20:00まで 出願書類送付期限: 10月31日(月) 消印有効	●郵送出願: 10月20日(木) ～10月31日(月) 消印有効	A日程: 11月12日(土) B日程: 11月13日(日)	A・B日程:本学(寝屋川キャンパス) 京都・神戸・姫路・和歌山 A日程:広島・高松 B日程:岡山・徳島	11月23日(水)	1次: 12月 2日(金) 2次: 1月 6日(金)
一般入学試験 前期A・B日程	工　学　部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部 金融経済学部	●インターネット出願: 1月 5日(木)0:00～ 1月18日(水)20:00まで 出願書類送付期限: 1月18日(水) 消印有効	●郵送出願: 1月 5日(木) ～1月18日(水) 消印有効 ●窓口出願: 1月19日(木)	A日程: 1月31日(火) B日程: 2月1日(水)	A・B日程:本学(寝屋川キャンパス) 京都・神戸・和歌山 A日程:東京・金沢・姫路・広島・高松 B日程:名古屋・岡山・徳島・福岡	2月11日(土)	1次: 2月20日(月) 2次: 2月27日(月)
一般入学試験 前期センター方式		●インターネット出願: 1月 5日(木)0:00～ 1月31日(火)20:00まで 出願書類送付期限: 2月1日(水) 必着	●郵送出願: 1月 5日(木) ～2月 1日(水) 必着	本学独自の学力試験はありません		2月14日(火)	1次: 2月27日(月) 2次: 3月 6日(月)
一般入学試験 後期		●インターネット出願: 2月10日(金)0:00～ 2月21日(火)20:00まで 出願書類送付期限: 2月21日(火) 消印有効	●郵送出願: 2月10日(金) ～2月21日(火) 消印有効 ●窓口出願: 2月22日(水)	3月1日(水)	本学(寝屋川キャンパス) 京都・神戸	3月11日(土)	一括: 3月15日(水)必着
一般入学試験 後期センター方式		●インターネット出願: 2月10日(金)0:00～ 2月27日(月)20:00まで 出願書類送付期限: 2月28日(火) 必着	●郵送出願: 2月10日(金) ～2月28日(火) 必着	本学独自の学力試験はありません			
特別入学試験 帰国生徒A・B日程 外国人留学生Ⅰ期A・B日程 社会人A・B日程	工　学　部 情報通信工学部 医療福祉工学部 総合情報学部 金融経済学部	郵送出願: 9月16日(金)～9月23日(金) 必着		A日程: 11月12日(土) B日程: 11月13日(日)	本　学(寝屋川キャンパス)	11月23日(水)	一括: 12月 2日(金)
特別入学試験 外国人留学生Ⅱ期A・B日程		郵送出願: 12月 5日(月)～12月12日(月) 必着		A日程: 1月31日(火) B日程: 2月1日(水)		2月11日(土)	一括: 2月20日(月)

＊詳しくは入学試験要項にてご確認ください。

第25回友電会びわこ支部総会のご案内

「震災から学び、考える天災・人災への備え」

開催予定日　平成28年11月6日(日)
　　午後2時～午後7時
開　催　地　大津市柳が崎公園内
　　大津館(旧琵琶湖ホテル)
会　　費　おひとり様　6,000円
申込み〆切　10月中旬
問い合わせ

　友電会びわこ支部ホームページからお申し込みできます。

大津館(旧琵琶湖ホテル)

●2016年度総会のハイライト ～あれから5年、防災意識を改めて問い直し～

　2011年3月の「東日本大震災」－震災の記録を絶やさないため伝承活動をされている友電会の菅野和夫(F03)さんを講師に招き、自らの体験を語っていただきながら我々の防災意識を改めて問い直す機会とする内容を考えています。また、大学が進められている防災研究についての講演を依頼したいと考えてます。

花束を手に退職者が記念撮影

母校の「2015年度退職者送別会」が行われる

母校・大阪電気通信大学の「2015年度退職者送別会」が平成28年３月８日(火)午後６時から大阪・北区堂島の「ANAクラウンプラザホテル」で開催されました。

同会には母校関係者や友電会会員など約150名が参加し、退職された11名(内６名の方が参加)の方々への慰労と感謝の意を込めた会合となりました。

会合は会式の後、退職された６名の主賓を出席者全員が拍手で迎えました。

世話人代表あいさつに引き続いて退職者の紹介と続き、橘邦英学長が「送別のことば」を述べられた。

次いで成瀬淳理事長があいさつされ、乾杯の音頭で懇親会に移りました。

会場では、あちこちで退職者を囲んで歓談する光景がみられました。

花束贈呈の後、記念品贈呈、記念撮影と続き、退職者代表として西岡昇氏があいさつされました。

大学歌を斉唱し、主賓を全員が拍手で見送り、午後８時過ぎに慰労と感謝の会は閉会しました。

退職者を代表して
西岡昇氏があいさつ

「送別のことば」を述べる
橘邦英学長

あいさつする成瀬淳理事長

退職者を囲んで歓談

●退職者〈出席〉

・人間科学研究センター	足立英郎　氏
・電気電子工学科	生田　孝　氏
・機械工学科	井口　学　氏
・機械工学科	樋野　励　氏
・環境科学科	西岡　昇　氏
・医療福祉工学科	森本正治　氏

●退職者〈欠席〉

・アセット・マネジメント学科	寺田　貢　氏
・実験特任講師	清水幸夫　氏
・情報教育特任講師	下倉雅行　氏
・庶務課	徳永佑樹　氏
・嘱託職員	汪　詩雨　氏

退職者に花束贈呈

退職者を囲んでの記念撮影

平成28年度友電会通常総会・合同懇親会
平成28年６月18日(土)に寝屋川キャンパスで

友電会HP　http://www.yudenkai.org

午前10時00分	クラブ同窓会総会	J-515号室
午前10時30分	友電会総会 受付開始	J号館１階
午前11時15分	緑樹会年次報告会	J-514号室
午前11時25分	友電会通常総会	J-507号室
午後０時15分	記念講演会	J-510号室
午後１時～	合同懇親会	J号館１階レストラン
午後３時	閉会	

会　場　寝屋川キャンパス
　　エデュケーションセンター(J号館)

会　費　3,000円
　　(同伴者、学生、名誉教授、招待者は無料)

友電会では、「平成28年度通常総会・合同懇親会」を平成28年6月18日(土)午前10時から午後3時まで開催します。会場は、母校・寝屋川キャンパス・エデュケーションセンター(J号館)です。

合同懇親会は、緑樹会、クラブ同窓会、友電会の3団体共催で開催します。会員はもとより恩師やクラブのOBなど、多くの方々が出席する事になっています。家族連れも多く、ぜひとも会友お誘いのうえ、ご家族を伴ってご出席をお願いします。

記念講演会では、今年度学長に就任した大石利光先生。テーマは「伝統を継承し、実学教育で『人間力』と『技術力』を培う大学として」で講演していただくことになっています。

●通常総会の出欠連絡と委任状送付のお願い

平成28年度友電会通常総会への出欠をお知らせください。欠席される場合は、同封の委任状に必要事項をご記入のうえ、返信をお願いします。

友電会HP　http://www.yudenkai.org

郵送での返信は６月14日(火)までに投函してください。FAX、Eメールの返信は６月17日(金)午後３時まで可能です。ただし、メールによる出欠委任状の返信は友電会ホームページからのみ有効です。

友電会50周年記念品「80インチ４Kテレビ」二式を母校に贈呈

友電会は昨年度「創立50周年」を迎えました。これを記念して、入学式当日の４月５日(火)午後１時30分から四條畷キャンパスのコナミホール(入学式会場)で、母校に「友電会創立50周年記念品」を贈呈しました。

記念品は、「80インチ４Kテレビ」二式で、池本善一友電会会長から新学長の大石利光先生に目録が手渡されました。

学長は、「このたびは、大変結構なお品物をご寄贈いただきまして、誠にありがとうございました。ご寄贈いただいた設備等は、有効に活用させていただきます」と返答されました。

贈呈式の後、四條畷キャンパスのコナミホールと６号館の間のホールに設置された記念品の80インチテレビの前で記念写真を撮影しました。もう一式は、寝屋川キャンパスのエデュケーションセンター(J号館)１階のレストランと学生ラウンジの間のホールに設置されています。

贈呈した「80インチ４Kテレビ」

６月18日(土)に寝屋川キャンパスで開催されます「平成28年度友電会通常総会」に来学、また、寝屋川キャンパス、四條畷キャンパスを訪れた際は、ぜひともご覧ください。大学はもとより、学生ともども有効に活用されていることでしょう。

池本善一友電会会長から
大石利光学長に目録を贈呈

四條畷キャンパスに設置された
「80インチ４Kテレビ」前で